

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証

5か年の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。

ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

- 市内に残るまとまりのある緑地を保全して次世代に引き継ぐため、緑地保全制度による地区指定を積極的に進めます。
- 特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。
- 市民の森において、市民が森に親しめるような散策路などの整備を行います。また、市が取得した樹林地での柵の設置などの初期整備を行います。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		緑地保全制度による新規指定		不測の事態による買取希望等への対応	
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	101.7ha		18.2ha	
	平成 27 年度実績	102.5ha		24.1ha	
	平成 28 年度実績	62.4ha		24.7ha	
	平成 29 年度実績	61.8ha		21.5ha	
	平成 30 年度実績	50.0ha		17.1ha	
	5か年累積 [a]	378.4ha		105.6ha	
5か年目標・想定 [b]		目標	500ha	想定	108ha

▼目標・計画値に対する進捗率

		緑地保全制度による新規指定		不測の事態による買取希望等への対応	
5か年目標・想定に対する進捗率 [a/b×100]		76%	○	98%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	5,878 百万円	677 百万円
	平成 27 年度決算額	6,390 百万円	1,151 百万円
	平成 28 年度決算額	6,250 百万円	913 百万円
	平成 29 年度決算額	5,741 百万円	948 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	4,962 百万円	357 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	29,222 百万円	4,046 百万円
5 か年計画額 [d]		32,494 百万円	3,556 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		90%	○	114%	◎



5か年の評価・検証

- 土地所有者への働きかけを積極的に実施しており、指定実績は、5か年計画値の約8割、378.4haとなっています。
- 近年では、比較的小規模な樹林地で指定の働きかけを進めている案件が多くなっており、大面積での指定案件は少なくなっています。この傾向は、今後も続いていくと考えられます。
- 指定地での買入の希望に対して、横浜みどり税を活用して対応してきたことで、105.6ha(約21ha/年)の樹林地を市有地として保全することができました。
- みどりアップ計画の取組が、樹林地所有者の間で広く知られるようになり、以前は指定に至らなかった案件の中でも、再度の働きかけを行い指定できた案件も増えてきており、事業の周知やPR、再度の働きかけも重要と考えています。

5か年の総合評価	B
----------	---



5か年の実績詳細

■ 緑地保全制度による新規指定

制度	新規指定等		
	面積	区名	地区詳細
特別緑地保全地区	175.0ha	鶴見	馬場五丁目地区 (0.4ha)、東寺尾六丁目地区 (0.9ha)、東寺尾六丁目南地区 (0.3ha)
		神奈川	片倉三丁目地区 (1.0ha)、三枚町牛道根地区 (0.2ha<指定拡大>)、三枚町矢崎地区 (0.2ha)、菅田町出戸谷地区 (0.2ha<指定拡大>)、菅田町堀上地区 (0.3ha<指定拡大>)、菅田町南出戸地区 (3.0ha)、羽沢町綿打地区 (0.4ha)、羽沢南三丁目地区 (0.4ha)、菅田町赤坂地区 (1.1ha)、羽沢町相原地区 (0.6ha)、羽沢南四丁目地区 (0.3ha)
		港南	野庭町地区 (3.7ha)、野庭・上永谷地区 (1.1ha)
		保土ヶ谷	今井町多子谷地区 (2.1ha)、今井町美立橋地区 (5.0ha)、上菅田町金草沢東地区 (1.0ha)、境木本町地区 (0.8ha)、仏向町地区 (1.9ha)、今井町大久保地区 (0.3ha)、仏向西地区 (0.4ha)、上菅田町笹山地区 (0.1ha<指定拡大>)
		旭	市沢町日向地区 (0.6ha)、上川井町堂谷地区 (3.5ha)、上白根町小池地区 (2.7ha)、川島町二ノ沢地区 (0.8ha)、市沢町地区 (2.8ha<指定拡大>)、上川井町露木谷地区 (10.3ha)、川井本町地区 (2.3ha)、都岡町地区 (1.6ha)、上白根町後谷地区 (2.5ha)、三保地区 (0.2ha<指定拡大>)、今川町地区 (1.2ha)、上川井町大竹谷地区 (1.0ha)、中沢二丁目地区 (1.0ha)、下川井町地区 (0.4ha)、追分地区 (10.7ha<指定拡大>)
		磯子	氷取沢町地区 (2.2ha)
		金沢	朝比奈地区 (3.9ha<指定拡大>)、六浦東三丁目地区 (0.6ha)、関ヶ谷地区 (2.8ha)、大道二丁目地区 (2.3ha)、富岡東五丁目地区 (0.9ha)、富岡東三丁目地区 (1.6ha)、釜利谷東五丁目地区 (10.2ha)
		港北	小机城址地区 (0.1ha<指定拡大>)、大菅根台地区 (0.7ha<指定拡大>)、篠原町地区 (0.7ha)
		緑	北八朔町北地区 (1.2ha)、北八朔町中地区 (1.0ha)、北八朔町南地区 (2.5ha)、十日市場町笹山地区 (0.7ha)、長津田町深田地区 (1.7ha)、三保地区 (8.3ha<指定拡大>)、三保町東谷地区 (2.9ha)、三保町杉沢地区 (0.2ha)、三保町杉沢堰地区 (0.6ha)、寺山町本谷地区 (0.4ha)、長津田町馬ノ背地区 (0.8ha)、長津田町長月地区 (1.2ha)、天神の杜地区 (0.4ha <指定拡大>)、台村町地区 (1.5ha)

(次頁に続く)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 — ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

		青葉	恩田町地区 (4.4ha)、恩田町九郎治谷地区 (0.7ha)、恩田町番匠谷地区 (1.4ha)、恩田東部地区 (9.5ha<指定拡大>)、鉄町富士塚台地区 (0.8ha)、鉄町稲荷谷戸地区 (1.1ha)、奈良町宮ノ谷地区 (5.4ha)、元石川町平崎地区 (1.0ha)、元石川町平崎北地区 (1.2ha) 奈良町神戸地区 (0.4ha)、奈良町西ノ谷地区 (1.4ha)、恩田町日影山地区 (1.3ha)、鉄町下ノ谷戸地区 (1.2ha)、桜台地区 (0.8ha)
		都筑	大棚町地区 (0.5ha)、池辺町滝ヶ谷戸地区 (0.3ha<指定拡大>)
		戸塚	下倉田町地区 (1.4ha)、名瀬・上矢部地区 (0.4ha)、東俣野町地区 (1.3ha)
		栄	上郷・中野地区 (2.4ha<指定拡大>)、上郷町瀬上地区 (1.5ha)、上郷町石原地区 (10.9ha)、上郷町深田地区 (0.3ha)
		泉	和泉町関島地区 (1.5ha)、和泉町天王森地区 (0.6ha)、和泉町早稲田地区 (2.0ha)、岡津町金堀谷地区 (0.5ha)、新橋町地区 (2.2ha)
		瀬谷	阿久和南一丁目地区 (1.3ha)、本郷三丁目地区 (0.3ha)、宮沢三丁目地区 (0.3ha)
市民の森等	46.9ha	鶴見	獅子ヶ谷地区 (0.03ha<指定拡大>)
		保土ヶ谷	今井・境木地区 (0.6ha<指定拡大>)
		旭	今宿地区 (0.1ha<指定拡大>)、追分地区 (0.4ha<指定拡大>)、南本宿地区 (0.1ha<指定拡大>)、(仮称)上川井地区 (10.1ha)、柏町地区 (0.007ha<指定拡大>)、(仮称)市沢地区 (4.4ha)
		磯子	峯地区 (3.6ha<指定拡大>)、氷取沢地区 (0.8ha<指定拡大>)
		金沢	朝比奈北地区 (0.7ha<指定拡大>)、氷取沢地区 (9.7ha<指定拡大>) 釜利谷地区 (1.6ha<指定拡大>)、富岡東三丁目地区 (1.5ha<指定拡大>)、(仮称)御伊勢山・権現山地区 (2.0ha)
		緑	新治地区 (0.5ha<指定拡大>)、三保地区 (0.1ha<指定拡大>)、台村地区 (2.0ha)
		青葉	(仮称)恩田地区 (0.3ha<指定拡大>)
		都筑	池辺地区 (0.9ha<指定拡大>)
		戸塚	(仮称)名瀬・上矢部地区 (3.9ha<指定拡大>)、舞岡ふるさとの森 (0.03ha<指定拡大>)
		栄	上郷地区 (0.1ha<指定拡大>)、瀬上地区 (0.2ha<指定拡大>)
		泉	新橋地区 (1.0ha<指定拡大>)、古橋地区 (2.2ha)
		瀬谷	瀬谷地区 (0.1ha<指定拡大>)

(次頁に続く)

緑地保存地区	38.0ha		134 地区
源流の森保存地区	110.2ha		212 地区
寄附緑地等	8.3ha		
【合計】	378.4ha		



【写真】下川井町特別緑地保全地区
(旭区)



【写真】釜利谷東五丁目特別緑地保全地区
(金沢区)

■ 買入れ申し出への対応

制度	区名	地区名
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区 (予定地含む)	鶴見	駒岡・梶山地区、獅子ヶ谷・師岡地区、東寺尾六丁目地区、東寺尾六丁目南地区
	神奈川	三枚町地区、菅田町出戸谷地区、菅田町南出戸地区、神大寺二丁目地区、三枚町矢崎地区
	南	中里三丁目地区
	港南	芹が谷五丁目地区、野庭町地区
	保土ヶ谷	今井町多子谷地区、今井町美立橋地区、上菅田町金草沢東地区、川島地区、上菅田町寺下橋地区
	旭	市沢町地区、猪子山地区、上川井町大貫谷地区、上川井町堂谷地区、上川井町堀谷地区、上白根町小池地区、川井本町地区、川島町二ノ沢地区、善部町地区、都岡町地区、鶴ヶ峰二丁目地区、南本宿地区、三保地区、追分地区、今川町地区
	磯子	円海山地区、峰地区、氷取沢町地区
	金沢	朝比奈地区、大丸山地区、釜利谷地区、大道二丁目地区
	港北	大曽根台地区、小机城址地区、綱島地区、日吉地区
	緑	鴨居四丁目地区、北八朔町中地区、北八朔町南地区、寺山町本谷地区、十日市場町笹山地区、長津田町深田地区、西八朔町藤林地区、三保地区(再掲)、三保町杉沢地区、三保町東谷地区、鴨居原地区、長津田町馬ノ背地区、三保町杉沢堰地区、上山・白山地区、長津田町長月地区、天神の杜地区
青葉	恩田東部地区、恩田町番匠谷地区、鉄町富士塚台地区、寺家地区、奈良町神戸地区、元石川町平崎地区、奈良町宮ノ谷地区、恩田町日影山地区、鉄町稻荷谷戸地区、鉄町下ノ谷戸地区、桜台地区	

(次頁に続く)

	都筑	池辺町滝ヶ谷戸地区、池辺町八所谷戸地区
	戸塚	下倉田町地区、汲沢四丁目地区、舞岡地区
	栄	飯島町地区、円海山地区、大丸山地区、鍛冶ヶ谷地区、上郷・中野地区、公田・荒井沢地区
	泉	和泉町早稲田地区、岡津町金堀谷地区、鍋屋地区、古橋地区、新橋町地区、和泉町天王森地区
	瀬谷	本郷三丁目地区、宮沢三丁目地区
<p>市民の森等</p> 	鶴見	獅子ヶ谷地区、東寺尾地区
	旭	追分地区、南本宿地区、柏町地区（予定地）
	磯子	峯地区
	金沢	富岡東三丁目地区
	港北	篠原城址地区、綱島地区
	緑	新治地区
	戸塚	深谷地区、舞岡地区、上矢部地区
	栄	瀬上地区
	泉	新橋地区、中田地区、古橋地区
	瀬谷	瀬谷地区、東山地区
【合計】	108 地区 105.6ha	



【写真】三保町杉沢堰特別緑地保全地区（緑区）



【写真】和泉町天王森特別緑地保全地区（泉区）

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

- 森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進します。
- 愛護会などと連携し、森ごとの具体的な管理の計画を定める「保全管理計画」を策定し、森づくりを推進します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		ガイドライン等を活用した 維持管理		保全管理計画の策定	
		(樹林地)	(公園)	(樹林地)	(公園)
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	109 か所	11 か所	3 か所	5 か所
	平成 27 年度実績	121 か所	14 か所	3 か所	3 か所
	平成 28 年度実績	131 か所	18 か所	2 か所	4 か所
	平成 29 年度実績	128 か所	29 か所	4 か所	1 か所
	平成 30 年度実績	132 か所	30 か所	3 か所	1 か所
	5 か年累積 [a]	621 か所	102 か所	15 か所	14 か所
5 か年目標 [b]		推進	推進	15 か所	10 か所

▼目標・計画値に対する進捗率

	ガイドライン等を活用した 維持管理		保全管理計画の策定			
	(樹林地)	(公園)	(樹林地)	(公園)		
5 か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]	—		100%	◎	140%	◎

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	392 百万円	251 百万円
	平成 27 年度決算額	431 百万円	281 百万円
	平成 28 年度決算額	478 百万円	340 百万円
	平成 29 年度決算額	495 百万円	351 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	528 百万円	377 百万円
	5か年累積見込額 [c]	2,325 百万円	1,600 百万円
5か年計画額 [d]		2,100 百万円	1,323 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	111%	◎	121%	◎



5か年の評価・検証

- 市民の森、まとまった樹林のある公園等において目標を上回る箇所で保全管理計画の策定が進み、樹林地の特性に応じた保全管理のあり方について、愛護会等と共通の認識を持ちながら、維持管理を進めることができました。
- 樹林地に手を入れることにより、森が明るくなったほか、作業の工夫によって里山にみられる希少な野草が増え、多様な環境の形成により多くの野鳥の生息が確認できるなど、生物多様性の保全につながる成果が表れています。
- 樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全に資するため、市民協働による保全管理計画の策定等を推進するとともに、作業の結果を調査・検証し、作業内容を見直す順応的管理を継続的に行っていくことが必要です。
- 保全管理計画に基づく管理作業の成果が蓄積されたことにより、希少な野草を育成するための林床管理や、外周部の安全性向上のための樹木伐採手法等、樹林地管理手法の改良や新たな技法の検討を進めました。
- 市が取得した樹林地の総量は年々増加しており、これらに対応した効率的な管理手法の検討を新たに進めることが必要です。

5か年の総合評価

A



5か年の実績詳細

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

市民の森、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林地を対象に、維持管理の技術指針である「森づくりガイドライン」や森ごとに定めた「保安全管理計画」に基づき、間伐や下草刈り等の維持管理を実施しました。



【写真】維持管理を実施した樹林地

(左：鶴見区/東寺尾ふれあいの樹林

右：戸塚区/ウイトリッヒの森)

■ 保安全管理計画の策定

森ごとに具体的な管理の計画を定めた「保安全管理計画」を、愛護会などと連携して策定しました。

	策定か所	区名
市民の森等	東寺尾ふれあいの樹林	鶴見
	かぶと塚ふれあいの樹林	鶴見
	境木ふれあいの樹林	保土ヶ谷
	善部町特別緑地保全地区	旭
	今宿市民の森	旭
	関ヶ谷市民の森	金沢
	朝比奈北市民の森	金沢
	綱島市民の森	港北
	もえぎ野ふれあいの樹林	青葉
	上郷市民の森	栄
	飯島市民の森	栄
	古橋市民の森	泉
	川和市民の森	都筑
	名瀬北特別緑地保全地区	戸塚
	まさかりが淵市民の森	戸塚
まとまった樹林地のある都市公園	久良岐公園	港南
	港南台中央公園	港南
	こども自然公園	旭
	北八朔公園	緑
	玄海田公園	緑
	大塚・歳勝土遺跡公園	都筑
	鴨池公園	都筑
	茅ヶ崎公園	都筑
	都筑中央公園	都筑
	山崎公園	都筑
	小菅ヶ谷北公園	栄
	本郷ふじやま公園	栄
	瀬谷貉窪公園	瀬谷
	長屋門公園	瀬谷



【写真】

保安全管理計画の策定 検討会の様子
(泉区/古橋市民の森)

3 指定された樹林地における維持管理の支援

- 緑地保全制度により指定した私有樹林地の外周部などの危険・支障樹木のせん定や伐採などの維持管理作業を支援します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		維持管理の支援
進捗状況	平成 26 年度実績	132 件
	平成 27 年度実績	103 件
	平成 28 年度実績	83 件
	平成 29 年度実績	87 件
	平成 30 年度実績	72 件
	5か年累積 [a]	477 件
5か年目標 [b]		650 件

▼目標・計画値に対する進捗率

		維持管理の支援	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	73%	○	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	89 百万円	89 百万円
	平成 27 年度決算額	76 百万円	76 百万円
	平成 28 年度決算額	65 百万円	65 百万円
	平成 29 年度決算額	64 百万円	64 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	51 百万円	51 百万円
	5か年累積見込額 [c]	345 百万円	344 百万円
5か年計画額 [d]		600 百万円	600 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	58%	△		57%	△

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む



5か年の評価・検証

- 緑地保存地区等において土地所有者への維持管理助成により、危険樹木除去等の管理を進め、樹林地の保全に寄与しました。
- 継続して取り組むことで、土地所有者による樹林地管理の負担感を軽減し、樹林地の継続保有への意欲につながっていると考えられます。
- 樹林地所有者が維持管理に負担を感じている項目は、樹林地外周部に加え、内部の倒木や枯れ木の撤去、不法投棄防止や土砂崩れ対策などがあり、一層効果的な取組としていくことが必要です。

5か年の総合評価	B
----------	---



5か年の実績詳細

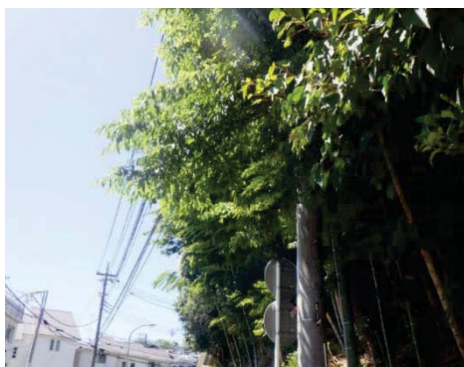
■ 指定された樹林地における維持管理の支援

緑地保全制度により指定した私有樹林地の外周部において、隣接する住宅や道路等に対して危険な樹木や電線等の支障になっている樹木のせん定・伐採、火災や不法投棄等の恐れがある草地の草刈等の維持管理費用を助成しました。

< 区別実績 >

区名	件数	区名	件数
鶴見	15	金沢	39
神奈川	15	港北	41
西	3	緑	37
中	8	青葉	27
南	10	都筑	36
港南	28	戸塚	※65
保土ヶ谷	32	栄	※31
旭	31	泉	27
磯子	16	瀬谷	18
		合計	477

※戸塚区・栄区をまたがる実績が2件あり、合計が一致しません



【写真】
作業前（上）と作業後（下）（南区）



助成利用者の声

- ・長年課題となっていた樹木のせん定ができ、安心しました。
- ・道路にかかり危険であった現場もきれいになり、不安感が減りました。

4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

- 防災や安全面の対策が必要な緑地の法面を対象に、生物多様性にも配慮した法面整備を推進します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		生物多様性に配慮した 防災性・安全性の向上
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	(施工中 1 か所)
	平成 27 年度実績	整備 3 か所
	平成 28 年度実績	整備 5 か所
	平成 29 年度実績	整備 4 か所
	平成 30 年度実績	整備 3 か所 (施工中 1 か所)
	5 か年累積 [a]	15 か所
5 か年目標 [b]		10 か所

▼目標・計画値に対する進捗率

		生物多様性に配慮した 防災性・安全性の向上
5 か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]	150%	◎

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執 行 状 況	平成 26 年度決算額	68 百万円	68 百万円
	平成 27 年度決算額	114 百万円	68 百万円
	平成 28 年度決算額	125 百万円	125 百万円
	平成 29 年度決算額	158 百万円	158 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	113 百万円	113 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	578 百万円	533 百万円
5 か年計画額 [d]		1,000 百万円	1,000 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税	
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	58%	△	53%	△

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む



5か年の評価・検証

- 目標を上回る箇所数の法面の整備が完了し、樹林地の安全性は着実に向上しています。
- 施工後の植生回復によって法面がより安定化する工法を、対象とした緑地の状況に応じて検討し、安全性を確保しつつ生物多様性にも配慮した整備を進めることができました。
- 樹林地の買入れが進み、法面に対する防災性や安全性への意識が高まるなか、樹林地がもつ生物多様性の保全や良好な景観形成、減災など多様な機能を生かし、場所に合った対策工事を早期に実施することが必要です。

5か年の総合評価

A



5か年の実績詳細

■ 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

獅子ヶ谷市民の森（鶴見区・2か所）、白幡西緑地（神奈川区）、上山・白山特別緑地保全地区（緑区）、岡村一丁目緑地（磯子区）、宮田緑地（保土ヶ谷区）、川島特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）、舞岡ふるさとの森（戸塚区・2か所）、舞岡特別緑地保全地区（戸塚区）、名瀬北特別緑地保全地区（戸塚区）、荒井沢市民の森（栄区）、上郷市民の森（栄区・2か所）、新治市民の森（緑区）において、生物多様性にも配慮した防災や安全性の対策工事を実施しました。



【写真】法面の整備
（戸塚区/名瀬北特別緑地保全地区）



【写真】法面の整備
（栄区/上郷市民の森）

5 間伐材の有効利用

- チッパーの貸出しなどにより、間伐材の有効活用を推進します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		チッパーの貸出し
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	20 回
	平成 27 年度実績	11 回
	平成 28 年度実績	8 回
	平成 29 年度実績	7 回
	平成 30 年度実績	8 回
	5か年累積 [a]	54 回
5か年目標 [b]		推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執 行 状 況	平成 26 年度決算額	5 百万円	4 百万円
	平成 27 年度決算額	3 百万円	2 百万円
	平成 28 年度決算額	4 百万円	3 百万円
	平成 29 年度決算額	3 百万円	2 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	4 百万円	3 百万円
	5か年累積見込額 [c]	19 百万円	14 百万円
5か年計画額 [d]		45 百万円	40 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		42%	△	35%	△




5か年の評価・検証

- 森の手入れで発生した間伐材のチップ化の作業を支援することにより、樹林地の維持管理に貢献しました。
- 森の手入れで発生した間伐材を使用して、新たにクラフトキットや樹名板の作成などの取組も開始し、イベント等で好評を得ました。こうした取組は森づくり活動を幅広い市民にアピールできる取組と考えられます。
- 今後も、市内で発生する間伐材を活用して、横浜の森づくりやクラフトによる普及啓発を行う等、木材の地産地消を実践します。

5か年の総合評価

B

 5か年の実績詳細

■ 間伐材チップ化作業支援

市民の森等で活動する森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材をチップ化して園路に敷くなど有効活用を図るため、チップ化作業の支援を行いました。

実施か所	区	回数
川井特別緑地保全地区	旭	10
関ヶ谷市民の森	金沢	3
緑地保存地区（能見台東）	金沢	4
新治市民の森	緑	4
鴨居原市民の森	緑	5
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	8
茅ヶ崎公園	都筑	10
鯉ヶ久保ふれあいの樹林	泉	1
古橋特別緑地保全地区	泉	3
源流の森（和泉町）	泉	4
環境活動支援センター	保土ヶ谷	1
瀬上市民の森	栄	1
	【計】	54



【写真上】チップ化作業支援の様子/
 【写真下】チップの敷均しの様子
 （青葉区 もえぎ野ふれあいの樹林）



間伐材チップ化作業支援を利用した
 森づくり活動団体の声

- ・専用の機械で効率的に作業が進み、助かりました。

■ 間伐材利活用方法の検討

森への関心をより多くの方にもってもらうため、森の手入れで発生した間伐材を活用しクラフトキットや樹名板を作成し、市内で発生する間伐材を有効活用しました。

作成数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
マグネット	200	2,000	2,000
キーホルダー	100	2,000	2,000
樹名板	-	100	1,000



【写真】市内産木材を使用した
 樹名板とクラフト

6 森づくりを担う人材の育成

- 森づくり活動に取り組む団体のスキルアップにつながる研修を実施します。
- 森づくりボランティア登録者を対象とした研修を開催するとともに、ボランティアが森づくり活動団体へ加入するための橋渡しを行います。
また、森づくりに関する情報発信を行います。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		森づくり活動団体向けの 研修の実施	森づくりボランティアへの 情報発信（ニュースレター発行）
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	16 回	4 回
	平成 27 年度実績	14 回	4 回
	平成 28 年度実績	11 回	4 回
	平成 29 年度実績	12 回	3 回
	平成 30 年度実績	11 回	4 回
	5か年累積 [a]	64 回	19 回
5か年目標 [b]		推進	推進

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執 行 状 況	平成 26 年度決算額	9 百万円	9 百万円
	平成 27 年度決算額	6 百万円	6 百万円
	平成 28 年度決算額	6 百万円	6 百万円
	平成 29 年度決算額	5 百万円	5 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	5 百万円	5 百万円
	5か年累積見込額 [c]	31 百万円	31 百万円
5か年計画額 [d]		41 百万円	41 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		76%	○	76%	○



5か年の評価・検証

- 森での管理に必要な知識や作業に関する研修を開催し、森づくりボランティアなどの育成を推進しました。
- 安全に配慮した作業に関する研修を実施し、森づくり活動団体の安全に関する意識の向上を図りました。
- 森づくり活動の場が年々増加することに加え、既存の団体でも高齢化などにより担い手が不足しているため、新たな人材の育成を進めるとともに、ボランティアと森づくり活動団体との橋渡しや、個人で参加できる森づくり体験会などの試みを継続的に行っていく必要があります。
- 今後は SNS の活用など、行政と市民ボランティアの双方向のコミュニケーションがとれるような情報発信が必要です。

5か年の総合評価

B



5か年の実績詳細

■ 森づくりを担う人材を育成するための研修

研修名	回数	対象者	
		団体	登録者
「森づくりリーダー養成講座」	4回	○	
「これも覚えよう！30種」(スキルアップ講座)	24回	○	○
「調査・モニタリング研修」(スキルアップ講座)	1回	○	
「作業実習」(スキルアップ講座)	5回	○	
「救急救命講習会」(スキルアップ講座)	3回	○	
「森づくりボランティア基本研修」(必須研修)	2回	○	
「森づくり活動団体基本研修」(必須研修)	8回	○	
「森づくりボランティア入門講座」	15回		○
「ロープワーク実習」	2回	○	○
【計】	64回		



研修参加者の声

- ・ 森の素晴らしさを感じさせてもらい、森の素敵な面をたくさんみることができました。
- ・ 午前中に座学を受けてから山に入ることで、今までと違った目線で山を歩くことができ楽しかったです。
- ・ 道具の使い方、ロープワークなど生活に使えることも教えていただき楽しくできました。
- ・ 森づくりの意味・意義についてのお話が分かりやすかったです。実技のワークも楽しく、面白かったです。
- ・ 倒木の際のKY（危険予知）は非常に勉強になりました。また、事故事例が多く示され、参考になりました。



【写真】
「森づくりボランティア入門講座」の様子（緑区/新治市民の森）

■ 森づくりボランティアの橋渡し

森づくり活動団体からの要望を受け、団体が主催する行事の案内を森づくりボランティア登録者へ送付し、団体活動の周知を図りました。（平成30年度：2回）

■ 森づくりに関する情報発信

森づくりボランティアや森づくり活動団体に向けた森づくりに関する情報発信として、『よこはまの森ニュースレター』を年4回発行しました。

＜支援対象＞(平成30年度末時点)

森づくり活動団体等	70 団体
森づくりボランティア	135 人

7 森づくり活動団体への支援

- 市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		森づくり活動団体への支援	
		(樹林地)	(公園)
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	延べ 22 団体	延べ 9 団体
	平成 27 年度実績	延べ 23 団体	延べ 9 団体
	平成 28 年度実績	延べ 34 団体	延べ 10 団体
	平成 29 年度実績	延べ 29 団体	延べ 8 団体
	平成 30 年度実績	延べ 25 団体	延べ 10 団体
	5か年累積 [a]	延べ 133 団体	延べ 46 団体
5か年目標 [b]		延べ 50 団体	延べ 50 団体

▼目標・計画値に対する進捗率

	森づくり活動団体への支援			
	(樹林地)		(公園)	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	266%	◎	92%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	3 百万円	3 百万円
	平成 27 年度決算額	6 百万円	6 百万円
	平成 28 年度決算額	7 百万円	7 百万円
	平成 29 年度決算額	5 百万円	5 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	7 百万円	6 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	27 百万円	27 百万円
5 か年計画額 [d]		28 百万円	28 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税	
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	96%	○	96%	○



5か年の評価・検証

- 森づくり活動を行っている団体に対する道具の貸出しや助成等の支援を通じて、樹林地の効率的・効果的な維持管理を推進しました。
- 森づくりに関する技術研修の実施を支援したことにより、森づくり活動を担う会員の人材育成につながりました。
- 樹林地管理の専門家を派遣し、専門家が生物多様性や安全性に配慮した保全管理作業を行うための指導を、活動団体のニーズに合わせて実施しました。
- 専門家の派遣を継続して実施した活動団体では、作業成果の確認などによって活動内容の着実な向上が認められました。
- 今後は、森づくり活動の安全性向上のため、活動団体の安全管理の状況を把握し、より積極的な専門家派遣を行っていくことも必要です。

5か年の総合評価

A



5か年の実績詳細

■ 道具の貸出し

カマやノコギリといった樹林地を管理するための道具や、救急セットなど安全対策用の道具、腕章や帽子など活動をPRするための道具の貸出しを行いました。

■ 活動に対する助成

森づくり活動の内容や成果、団体の活動記録をまとめ、広く地域の方に配布するための広報誌作成や、森づくり活動を担う会員の森づくりに関する技術研修（動植物の生態情報調査・収集方法の研修）の実施に対して助成を行いました。

■ 専門家の派遣

団体が抱える課題の解決に向け、専門家（アドバイザー）派遣による支援を行いました。

	団体	派遣内容
市民の森等	荒井沢市民の森愛護会	・森づくりボランティアによる谷戸の作業体験・活動支援による橋渡し
	飯島市民の森愛護会	・クヌギ林の枝打ちとそだ柵作り
	今宿市民の森愛護会	・ホタルの生息を目標にした湿地の環境整備 ・樹林地管理作業による環境変化の確認 ・樹林地や湿地の環境変化の確認（観察会）と今後の作業及び役割分担（愛護会と横浜市）の確認
	鍛冶ヶ谷市民の森愛護会	・危険斜面地における樹木管理の手法と意義 ・竹林の間伐材を活用した竹柵作り
	綱島市民の森愛護会	・植生調査及び健全な樹林とするための更新計画
	東寺尾ふれあいの樹林愛護会	・森の現状確認と森の魅力を引き出すための課題整理
	市民の森等愛護会、森づくり活動団体	・活動団体による検討会議の開催（橋渡しの課題や今後の方向性について共有）
	ガールスカウト横浜地区スカウトの森	・団体と森づくりボランティアの橋渡し（ロープを使用した伐採や落ち葉かき等を協働で実施） ・森の観察会及びKY（危険予知）活動や草刈実習を通じた安全管理の研修 ・生物多様性の環境整備、管理に伴う発生材の利用 ・森への関心向上のための森の生きものを教材にした野外学習や作業成果の確認
	メゾンふじのき台保存緑地作業部会	・樹林地管理の中長期計画づくり
	境木ふれあいの樹林運営委員会	・ふれあい活動における樹木の観察学習プログラムの作成
	和泉の森を育む会	・森の現状確認と計画づくりのための魅力や課題整理
	殿山の森を守り隊 リコー環境ボランティア	・森の魅力や課題の整理、今後の森づくり作業の計画づくり ・作業の具体的手順や樹木管理の適切な技法について
	港北ガーデンホームズみどり友の会	・安全性や生物多様性向上のための樹林地管理の方針について

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

公園	陣ヶ下自然愛好会	・植生調査のとりまとめ方法
	茅ヶ崎公園愛護会	・生物多様性を向上させる林床育成方法
	本郷ふじやま公園運営委員会 公園愛護会	・梅林の樹木せん定の方法 ・梅林の樹木せん定成果の確認および施肥の方法 ・植物別の管理の基礎知識



専門家派遣を受けた森づくり活動団体の声

- ・森に関わる団体や行政がそれぞれの役割を整理することができたので、よりよい環境づくりのために愛護会でできる作業を行いたいです。
- ・樹林地管理の方向性や、作業の手順、必要な技法などについて、活動している森の状況に即した的確なアドバイスをいただくことができました。
- ・団体のメンバーが独自で作業することもあったが、専門家による合理的な助言によって目標、方針を団体で共有でき、円滑な活動につながりました。
- ・作業成果の解説により、森づくり活動が生物多様性など森の質の向上に貢献していることが実感でき、活動意欲がさらに強まりました。



【写真】アドバイザー派遣による支援の様子
(磯子区/氷取沢市民の森)

8 森の楽しみづくり

- 森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関わるきっかけとなる親子で参加できるイベントや広報活動を展開します。
- 森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座等を開催します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		森に関わるイベント等の実施
進捗状況	平成 26 年度実績	107 回
	平成 27 年度実績	132 回
	平成 28 年度実績	106 回
	平成 29 年度実績	124 回
	平成 30 年度実績	91 回
	5か年累積 [a]	560 回
5か年目標 [b]		180 回

▼目標・計画値に対する進捗率

		森に関わるイベント等の実施	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	311%	◎	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	14 百万円	14 百万円
	平成 27 年度決算額	17 百万円	17 百万円
	平成 28 年度決算額	16 百万円	16 百万円
	平成 29 年度決算額	17 百万円	17 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	14 百万円	14 百万円
	5か年累積見込額 [c]	78 百万円	78 百万円
5か年計画額 [d]		100 百万円	100 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	78%	○		78%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む




5か年の評価・検証

- 5か年目標を上回る実績を上げることができました。引き続き、横浜の森の魅力や役割について、多くの市民に理解してもらうため、取組を広げていきます。
- 市内の大学や商工会議所等、多様な団体と連携して事業を進めたことで、市民が森に関わる機会をより多く、幅広い範囲に提供できました。
- 森に関わるきっかけとなるイベント等を市民が主体となって企画開催できるよう、インタープリターの養成講座やフォローアップ研修を実施しました。その結果、修了生によるイベントが市内各地で開催されました。
- 今後は、市内で活動しているインタープリターや、地域で既に活動されている方々と連携した取組をさらに展開していく必要があります。

5か年の総合評価

A

 5か年の実績詳細

イベント	回数	参加人数
間伐材を活用したクラフト教室の開催	360回	35,676人
親子で参加できる森に親しむイベントの開催	114回	28,611人
樹林地を利用したウォーキングイベントの開催	43回	19,304人
図書館と連携したイベントの開催	23回	417人
森に関わるきっかけづくりパネル展示の実施	20回	—人
インタープリター養成講座（フォローアップ研修含む）	全33回	53人が修了

■ 間伐材を活用したクラフト教室の開催

間伐材に触れ、楽しみながら森づくりについて学ぶクラフト教室を市内各所で開催しました。



【写真】

・間伐材を利用した昆虫キーホルダー作り



参加者の声

- ・楽しかったです。自転車の鍵に付けました。
- ・作ったものを持ち帰ることができるので、子どもが生活の中でも間伐材にふれあえます。

■ 親子で参加できる森に親しむイベントの開催

市内大学と連携した「よこはま森の楽校」など市民を対象としたイベントを開催しました。



【写真】「よこはま森の楽校 森にやってくる生き物たち～野鳥の生態と巣箱づくり～」主催：東京都市大学（都筑区/くさぶえのみち）



参加者の声

- ・普段ゆっくり自然に触れる機会がないので、とても貴重な体験ができました。親子とも大満足です。
- ・虫が嫌いだった子どもが、楽しく虫に触れていたのが驚きでした。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 — ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

■ 樹林地を利用したウォーキングイベントの開催



参加者の声

- ・市内にみどりがたくさん残っていることを再認識しました。
- ・植物の名前などを教えてもらい、ゆっくり散策できました。

【写真】「みどりアップ健康ウォーキング」の様子
(旭区/追分市民の森)

■ 図書館と連携したイベントの開催

子どもたちが自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考えることができるネイチャーゲームを組み入れたイベントを市内6館の図書館と連携して開催しました。



イベント開催区

鶴見区	保土ケ谷区
神奈川区	都筑区
中区	瀬谷区

【写真】「森の中のプレイパーク」の様子
(中区/本牧山頂公園)

■ 森に関わるきっかけづくりパネル展示の開催

市内図書館等で、二十四節気パネルの展示会を行いました。二十四節気毎に里山での行事等を紹介し、横浜のみどりの魅力を発信しました。

【写真】「二十四節気パネル展示会」の様子
(戸塚区/戸塚図書館)



■ インタープリター養成講座の開催

自然と人をつなぐ「仲介」し、その魅力を伝える役割を担う人材であるインタープリターを養成し、インタープリターが身近なフィールドで森を楽しむプログラムを自ら企画、運営できるよう講座を実施しました。

【写真】「インタープリター養成講座」の様子
(緑区/新治市民の森)



9 森に関する情報発信

- 市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。
- ウェルカムセンター5館を運営し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		ガイドマップ作成	ウェルカムセンターの運営
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	3 地域	推進
	平成 27 年度実績	2 地域	推進
	平成 28 年度実績	2 地域	推進
	平成 29 年度実績	1 地域	推進
	平成 30 年度実績	2 地域	推進
	5か年累積 [a]	10 地域	推進
5か年目標 [b]		推進	推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執 行 状 況	平成 26 年度決算額	40 百万円	3 百万円
	平成 27 年度決算額	42 百万円	3 百万円
	平成 28 年度決算額	41 百万円	2 百万円
	平成 29 年度決算額	42 百万円	4 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	40 百万円	3 百万円
	5か年累積見込額 [c]	205 百万円	15 百万円
5か年計画額 [d]		230 百万円	30 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		89%	○	50%	△




5か年の評価・検証

- 新規に指定された市民の森ではガイドマップを作成しました。また、スマートフォンのよこはまウォーキングポイントアプリに市民の森ガイドマップの情報を掲載しました。健康づくりやウォーキングに関心のある市民にも横浜の森の魅力をアピールすることができました。
- ウェルカムセンターにおいて森の情報提供や講座を開催しました。スタンプラリーを開催するなど魅力あるイベント要素を加え、市民が森を訪れ、学ぶ機会を増やすとともに、森の魅力や保全の意義について広く啓発することができました。

5か年の総合評価

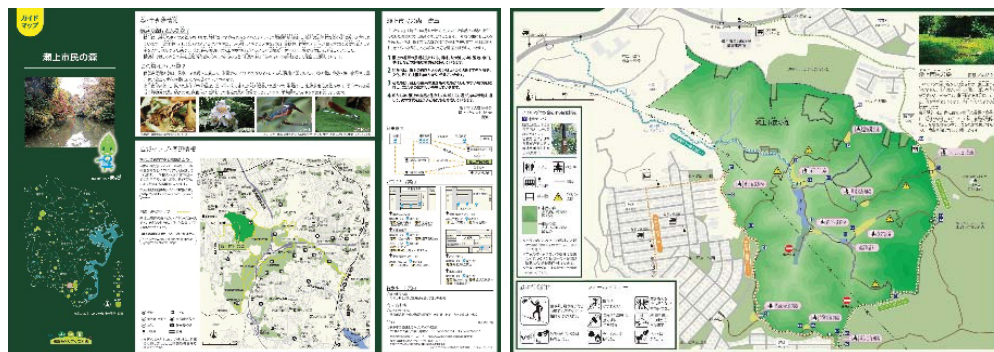
B

 5か年の実績詳細

■ ガイドマップの作成

ウォーキング等の散策にも活用できるよう、近接する市民の森、ふれあいの樹林を1枚にまとめたガイドマップを作成しました。

パンフレット作成地域	区
鍛冶ヶ谷市民の森	栄
南本宿市民の森・市沢ふれあいの樹林・境木ふれあいの樹林	旭、保土ヶ谷
今宿市民の森・鶴ヶ峰ふれあいの樹林	旭
川和市民の森	都筑
泉の森ふれあい樹林・中田宮の台市民の森、新橋市民の森	泉
柏町市民の森	旭
朝比奈北市民の森・峯市民の森	金沢、磯子
池辺市民の森	都筑
上川井市民の森	旭
瀬上市民の森	栄



【写真】瀬上市民の森ガイドマップ（栄区）

■ ウェルカムセンターの運営

市内5か所にあるウェルカムセンターでは、各館の立地や特性を生かしながら森の情報提供や、森を知り、楽しむための講座等を開催し、森の普及啓発・環境教育を行いました。



【写真】森の情報提供
 （戸塚区/舞岡ふるさと村虹の家）



【写真】野鳥観察会
 （青葉区/寺家ふるさと村四季の家）

イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

10 水田の保全

- 横浜に残る貴重な水田景観を保全するため、水稻作付を 10 年間継続することを条件に、土地所有者に奨励金を交付します。
- 水田景観を保全するうえで必要な水源を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸の設置を支援します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		水田保全承認面積	水源確保施設整備
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	119.7ha	1 か所
	平成 27 年度実績	120.1ha	1 か所
	平成 28 年度実績	120.8ha	2 か所
	平成 29 年度実績	119.8ha	3 か所
	平成 30 年度実績	117.5ha	2 か所
	5か年累積 [a]	117.5ha	9 か所
5か年目標 [b]		125ha	10 か所

▼目標・計画値に対する進捗率

		水田保全承認面積		水源確保施設整備	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		94%	○	90%	○

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	49 百万円	35 百万円
	平成 27 年度決算額	36 百万円	34 百万円
	平成 28 年度決算額	58 百万円	33 百万円
	平成 29 年度決算額	67 百万円	33 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	60 百万円	33 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	269 百万円	168 百万円
5 か年計画額 [d]		343 百万円	183 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		78%	○	92%	○



5か年の評価・検証

- 5か年で新規に承認された水田保全面積は、10.1ha となりました。公共事業や耕作者の高齢化等により、5か年で 11.4ha の水田保全が中止されましたが、市内の水田面積全体の約 9 割が保全され、事業はおおむね順調に進んでいることから、次年度以降も引き続き水田の保全を継続します。
- 水田の継続には水源確保が非常に重要であり、水源確保のための井戸設置に対する支援は、水田の継続に対して一定の効果があったと考えられます。

5か年の総合評価	B
----------	---

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



5か年の実績詳細

■ 水田保全承認面積の区別内訳

区名	面積（うち新規）	区名	面積（うち新規）	区名	面積（うち新規）
神奈川	0.1ha	港北	1.0ha	戸塚	9.6ha（0.6ha）
港南	0.7ha（0.1ha）	緑	36.0ha（4.1ha）	栄	2.7ha（0.3ha）
保土ケ谷	0.2ha	青葉	38.3ha（3.1ha）	泉	20.7ha（1.2ha）
旭	0.9ha	都筑	3.6ha（0.5ha）	瀬谷	3.7ha（0.4ha）
				計	117.5ha（10.1ha）

※四捨五入の関係により面積の合計は 10.1ha と一致しません。



【写真】夏の水田（緑区）



【写真】秋の水田（泉区）

■ 水田保全の維持に必要な井戸の掘削とポンプの更新を支援しました。

水稲作付の継続に必要な水を確保するための井戸の掘削とポンプ更新を支援しました。

- ・井戸施設設置：1 か所（緑区）
- ・井戸施設更新：1 か所（緑区）
- ・井戸掘削：1 か所（緑区）
- ・ポンプ更新：6 か所（青葉区、緑区）



【写真】更新したポンプ（青葉区）



【写真】更新したポンプが設置された機場（青葉区）

11 特定農業用施設保全契約の締結

- 市と契約を結び、市長に指定された「農業用施設用地」の固定資産税・都市計画税を10年間軽減します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		特定農業用施設保全契約の締結
進捗状況	平成26年度実績	12件 (1,348㎡)
	平成27年度実績	14件 (2,065㎡)
	平成28年度実績	14件 (1,640㎡)
	平成29年度実績	8件 (1,011㎡)
	平成30年度実績	13件 (1,284㎡)
	5か年累積 [a]	61件 (7,348㎡)
5か年目標 [b]		制度運用

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成26年度決算額	1百万円	0百万円
	平成27年度決算額	1百万円	0百万円
	平成28年度決算額	1百万円	0百万円
	平成29年度決算額	1百万円	0百万円
	平成30年度決算見込額 ※平成31年4月30日時点の数値	1百万円	0百万円
	5か年累積見込額 [c]	4百万円	0百万円
5か年計画額 [d]		5百万円	—百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		80%	○
		—%	—



5か年の評価・検証

- 毎年度平均12件程度の契約を結んでおり、概ね計画通りの進捗となりました。
- 農家の負担が軽減されることで、農業用施設の維持や改善が図りやすくなり、その農家が耕作する農地を保全することにつながりました。

5か年の総合評価 **B**

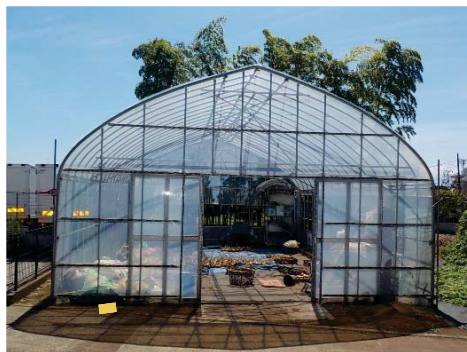
5か年の実績詳細

■ 農業用施設の指定基準

- (1) 全て農業用に使用されている施設。
- (2) 施設の一部が農業以外の用途に使用されている場合は、以下の要件を満たす施設。
 - ・ 農業専用部分と非農業専用部分が壁などで明確に分かれていること
 - ・ 農業専用部分の床面積の合計が延床面積の2分の1以上であること
 - ・ 二階建て以上の場合、一階はすべて農業専用であること



【写真】指定された農業用施設（緑区）



【写真】指定された農業用施設（瀬谷区）

■ 区別指定一覧

区名	件数	指定面積
鶴見	1件	189㎡
神奈川	5件	516㎡
港南	2件	203㎡
保土ヶ谷	3件	291㎡
旭	3件	380㎡
金沢	1件	60㎡
港北	2件	214㎡
緑	4件	405㎡

区名	件数	指定面積
青葉	7件	1,135㎡
都筑	1件	23㎡
戸塚	17件	2,425㎡
栄	3件	281㎡
泉	6件	657㎡
瀬谷	6件	570㎡
合計	61件	7,348㎡

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません。

12 農景観を良好に維持する取組の支援

- 生物多様性の保全に配慮し、周辺環境と調和した良好な農景観を保全・形成するため、地域の農家が組織する団体の維持・管理の取組を支援します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		良好に維持されている農地の面積	田園景観保全 水路整備	共同利用設備の整備
進捗状況	平成 26 年度実績	704.3ha	1 地区	2 件
	平成 27 年度実績	718.0ha	2 地区	1 件
	平成 28 年度実績	723.0ha	3 地区	2 件
	平成 29 年度実績	675.0ha	0 地区	9 件
	平成 30 年度実績	660.8ha	1 地区	5 件
	5か年累積 [a]	660.8ha	7 地区	19 件
5か年目標 [b]		680ha	5 地区	25 件

▼目標・計画値に対する進捗率

	良好に維持されている農地の面積		田園景観保全 水路整備		共同利用設備の整備	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	97%	○	140%	◎	76%	○

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	75 百万円	17 百万円
	平成 27 年度決算額	96 百万円	17 百万円
	平成 28 年度決算額	96 百万円	15 百万円
	平成 29 年度決算額	107 百万円	21 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	104 百万円	18 百万円
	5か年累積見込額 [c]	477 百万円	88 百万円
5か年計画額 [d]		562 百万円	200 百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	85%	○	44%	△

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



5か年の評価・検証

- 農地の保全活動に対して支援を行うことで、地域での草刈りや水路清掃、景観植物の植栽などの維持管理活動が活発になり、まとまりのある農地の環境・農景観が良好に維持されました。
- 生物多様性等の環境に配慮した水路整備（田園景観保全水路整備）に対する支援は、水田周辺の生物の多様性を維持しながら水田の水路機能を健全に保つことで、農景観の保全に効果があったと考えます。
- 地域団体が利用するたい肥化設備などの共同利用設備の整備の支援については、設備導入の条件を見直したことにより活用が増え、せん定枝等のたい肥化が進みました。

5か年の総合評価

B

5か年の実績詳細

■ 農地とその周辺の農景観保全のための活動を支援しました

まとまりのある農地の維持管理活動を行っている、各地区の農家団体の農地周辺部の道路・水路の清掃・草刈りや、景観植物の植栽・管理といった取組に対して支援を行いました。

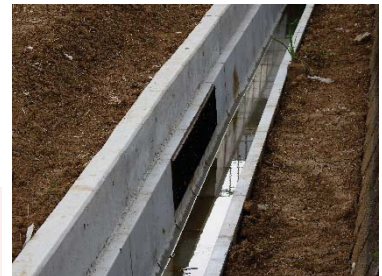
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
①	農地維持管理団体への支援	52 団体	55 団体	57 団体	54 団体	53 団体
②	道路・草刈りを行う団体への支援	46 団体	46 団体	51 団体		
③	景観植物の植栽・管理を行う団体への支援	5 団体	5 団体	5 団体	12 団体	11 団体



【写真】地域団体による水路清掃
 (瀬谷区)

■ 水路機能の維持のための水路改修及び環境に配慮した水路整備を支援しました

老朽化し、機能が低下している水路の改修と併せて、環境に配慮した水路整備について支援を行いました。



【写真】環境に配慮した多孔質パネル付き水路の整備 (青葉区)

■ 共同利用設備の整備

農業活動により生じるせん定枝や作物残さ等を堆肥化してリサイクルに取り組む団体の機械や設備の購入に対し支援しました。

区	件数	区	件数
鶴見区	1 件	青葉区	2 件
神奈川区	3 件	戸塚区	2 件
保土ケ谷区	2 件	栄区	1 件
旭区	1 件	泉区	2 件
港北区	2 件	瀬谷区	1 件
緑区	2 件		



【写真】せん定枝チップパー
 (田谷地区堆肥化機械利用組合/戸塚区)

13 多様な主体による農地の利用促進

- 意欲ある農家や新規参入を希望する企業等が農地を安定的に利用できるよう、農地を長期間貸し付ける場合、農地所有者に対し支援します。
- 遊休化した農地を市が一時的に借り受けて復元し、農地の利用を希望する担い手に貸し付けます。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		累計貸付農地（長期貸付開始農地）
進捗状況	平成 26 年度実績	66.4ha (4.1ha)
	平成 27 年度実績	77.0ha (10.6ha)
	平成 28 年度実績	93.6ha (16.6ha)
	平成 29 年度実績	109.9ha (16.3ha)
	平成 30 年度実績	130.3ha (20.4ha)
	5か年累積 [a]	130.3ha
5か年目標 [b]		80ha

▼目標・計画値に対する進捗率

		長期貸付開始農地	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	163%	◎	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	23 百万円	23 百万円
	平成 27 年度決算額	31 百万円	31 百万円
	平成 28 年度決算額	31 百万円	30 百万円
	平成 29 年度決算額	28 百万円	28 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	27 百万円	26 百万円
	5か年累積見込額 [c]	140 百万円	138 百万円
5か年計画額 [d]		177 百万円	177 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率（見込） [c/d×100]	79%	○		78%	○



5か年の評価・検証

- 平成 22 年度から運用してきた農地の貸し借りを促進する制度が浸透し、目標を上回る進捗となりました。
- 3年間に一般的だった農地の貸借期間が、本事業実施により6年以上の長期の期間が定着しました。意欲のある担い手により農地が安定的に耕作されることで、営農環境が向上するとともに、良好な農景観が保全されました。

5か年の総合評価

A



5か年の実績詳細

■ 長期間の農地貸付の支援を行いました

農地の遊休化を防ぐためには、安定的な農業経営が必要です。農地を長期間借りられるようになると今後の農業経営の見通しが立てやすくなり、農業経営の安定化に役立つため、市は6年以上の長期貸付を支援しています。

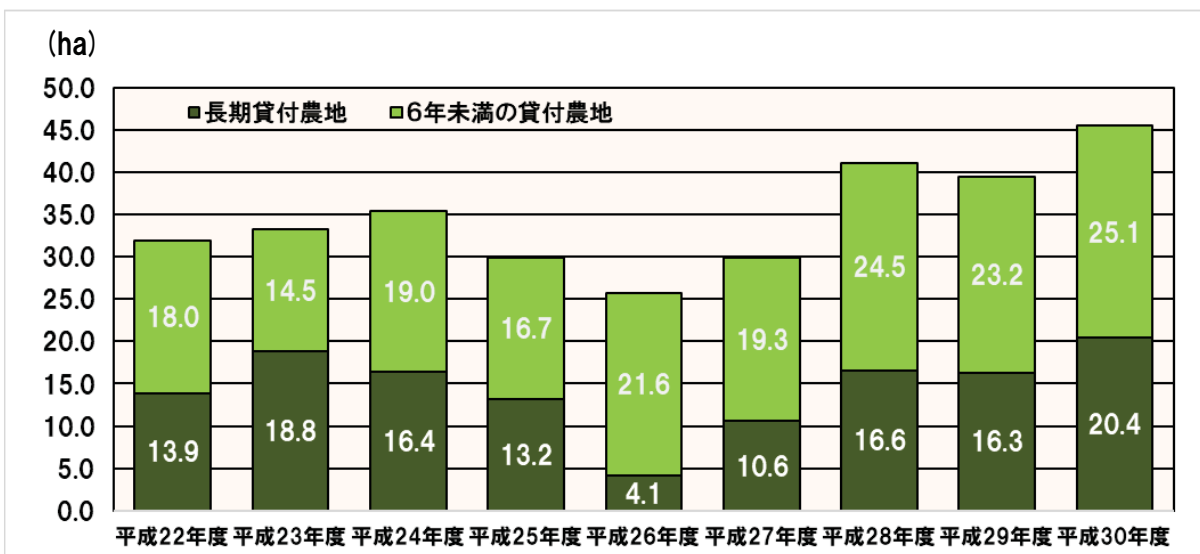
農家が長期間安定して耕作を行うことで、良好な農景観が維持されます。



【写真】長期貸付した農地（磯子区）



【写真】長期貸付した農地（戸塚区）



【図】長期貸付農地面積の推移



利用者の声

・意欲のある農業者の方に長期にわたり借りていただくことができ助かります。

14 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設支援や整備を進めます。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		様々な市民ニーズに合わせた農園の開設			
		合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
進捗状況	平成 26 年度実績	5.7ha	1.5ha	2.8ha	1.4ha
	平成 27 年度実績	4.6ha	1.0ha	2.2ha	1.4ha
	平成 28 年度実績	5.6ha	2.5ha	2.1ha	1.0ha
	平成 29 年度実績	3.4ha	1.7ha	1.4ha	0.3ha
	平成 30 年度実績	4.4ha	1.6ha	2.1ha	0.7ha
	5か年累積 [a]	23.7ha	8.3ha	10.6ha	4.8ha
5か年目標 [b]		25.8ha	12.5ha	6.0ha	7.3ha

▼目標・計画値に対する進捗率

	合計		収穫体験農園		市民農園		農園付公園	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	92%	○	66%	△	177%	◎	66%	△

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	739 百万円	354 百万円
	平成 27 年度決算額	602 百万円	65 百万円
	平成 28 年度決算額	695 百万円	227 百万円
	平成 29 年度決算額	270 百万円	41 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	1,015 百万円	989 百万円
	5か年累積見込額 [c]	3,322 百万円	1,677 百万円
5か年計画額 [d]		2,514 百万円	1,101 百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率(見込) [c/d×100]	132%	◎
		152%
		○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



5か年の評価・検証

- 開設支援や整備を行った農園を合計すると、5か年で23.7haとなり、果物のもぎとりや野菜の栽培など、市民が農を楽しむ場が多く作られました。
- 農業経営の取組のひとつとして農園の開設に関心を持つ農家も多く、継続して取り組むことで、市民だけでなく農家のニーズにも応えることが可能です。
- 農園付公園は、5か年で整備が完了した9か所のほか、複数か所で事業が進んでいます。

5か年の総合評価

B



5か年の実績詳細

■ 収穫体験農園の開設支援

ナシ、ブドウなどの果樹園の整備支援を行い、農家が栽培した旬の果物を収穫体験できる農園が増えました。

農園開設整備の支援		
神奈川区	2 か所	0.1ha
保土ケ谷区	1 か所	0.03ha
旭区	4 か所	0.4ha
港北区	5 か所	0.4ha
緑区	8 か所	1.3ha
青葉区	7 か所	0.6ha
都筑区	7 か所	0.6ha
戸塚区	8 か所	0.8ha
泉区	11 か所	1.4ha
瀬谷区	4 か所	0.9ha

果樹苗木育成の支援	
13 件	2.59ha

イモ掘取り等の支援	
7 件	0.92ha

農園の内訳	
ナシ	20 か所
ブドウ	12 か所
カキ	3 か所
ミカン	4 か所
イチゴ	9 か所
キウイ	4 か所
ブルーベリー	5 か所
トマト	3 か所
イチゴ、トマト	1 か所

※四捨五入および重複か所があるため、内訳と合計は一致しません

※市内の収穫体験農園：49か所
 (平成31年3月末時点)



農園開設者の声

・お客様の笑顔を楽しみに、品種等の勉強もしながら、日々、栽培に勤^{いそ}んでいます。



【写真】開設を支援した収穫体験農園
 (イチゴ/旭区)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 市民農園の開設支援

土地所有者が農園を開設するための支援を行い、5か年で 10.6ha の農園が開設されました。

- ・特区農園…区画貸しタイプの市民農園
- ・環境学習農園…児童・生徒などを対象に農家が指導を行う農園

区	特区農園	環境学習農園	計
鶴見	0.19ha	—	0.19ha
神奈川	0.49ha	—	0.49ha
港南	0.14ha	0.01ha	0.15ha
保土ヶ谷	0.34ha	—	0.34ha
旭	0.75ha	—	0.75ha
磯子	0.06ha	—	0.06ha
金沢	0.08ha	—	0.08ha
港北	0.65ha	—	0.65ha
緑	0.56ha	—	0.56ha
青葉	2.86ha	0.06ha	2.91 ha
都筑	0.88ha	—	0.88ha
戸塚	1.62ha	0.14ha	1.76ha
栄	0.07ha	—	0.07ha
泉	1.64ha	0.17ha	1.80ha



【写真】特区農園（青葉区）



【写真】特区農園（泉区）

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません



農園利用者の声

- ・収穫した野菜を食べることで、食べ物への興味がわきました。
（環境学習農園を利用している生徒）
- ・野菜づくりを通して、気持ちのリフレッシュになっています。
（特区農園利用者）

■ 農園付公園の整備

5か年で9か所(4.8ha)の農園付公園の整備が完了しました。

区	公園名	面積
鶴見	東寺尾一丁目ふれあい公園	0.3ha
神奈川	菅田町赤坂公園	0.4ha
保土ケ谷	今井の丘公園(拡張)	0.6ha
保土ケ谷	仏向原ふれあい公園	0.7ha
港北	師岡町梅の丘公園	1.0ha
都筑	大榭杉の森ふれあい公園	1.0ha
戸塚	ハマヤク農園	0.4ha
泉	泉が丘公園(拡張)	0.1ha
泉	岡津町ふれあい公園	0.3ha

- 市内に整備された農園付公園：10か所(5.2ha)(平成31年3月末時点)
 ※平成25年度開園の南本宿第三公園(0.4ha)を含む



【写真】仏向原ふれあい公園(保土ケ谷区)



農園付公園の利用者の声

- ・利用者同士での情報交換の場にもなり、家族で野菜の栽培を楽しんでいます。収穫体験や、専門家からのアドバイスもとても参考になります。

15 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

- 市民と農家を結ぶ交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農とふれあう機会を提供します。
- 農家と地域住民の協働により、連携して地域の農的環境の保全を図る取組を支援します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		農体験教室 などの実施	あぐりツアー の開催	農のある地域 づくり協定 実施件数	農体験講座
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	94 回	3 回	- 件	5 回
	平成 27 年度実績	89 回	3 回	2 件	5 回
	平成 28 年度実績	87 回	4 回	1 件	5 回
	平成 29 年度実績	86 回	5 回	0 件	5 回
	平成 30 年度実績	86 回	5 回	1 件	5 回
	5か年累積 [a]	442 回	20 回	4 件	25 回
5か年目標 [b]		500 回	20 回	4 件	25 回

▼目標・計画値に対する進捗率

		農体験教室 などの実施	あぐりツアー の開催	農のある地域 づくり協定 実施件数	農体験講座
5か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]		88% ○	100% ◎	100% ◎	100% ◎

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	11 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	11 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	9 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算額	10 百万円	0 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	11 百万円	0 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	52 百万円	0 百万円
5 か年計画額 [d]		62 百万円	0 百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	84% ○	—



5か年の評価・検証

- 事業全体として5か年の目標値をほぼ達成しました。
- 横浜ふるさと村、恵みの里での体験水田やうどん作り教室、ジャガイモ等の収穫体験の取組が継続的に実施され、市民が農とふれあう機会が増えました。
- 農のある地域づくり協定事業は、5か年目標である4件を達成し、農家と市民の協働による景観保全活動等により、農地の維持・保全が進みました。
- 農体験講座では、小学生とその家族と一緒に農作業を行い農とふれあう機会を提供しました。農作業の体験だけでなく、収穫物の食べ方を紹介するなど楽しみながら農業を学ぶ講座の取組を進めました。

5か年の総合評価	A
----------	---

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



5か年の実績詳細

■ 農体験教室などの実施に対して支援しました

横浜ふるさと村や恵みの里において、農家団体が実施した農体験教室等に対して支援しました。

＜横浜ふるさと村、恵みの里の開催実績＞

場所	回数	詳細
舞岡ふるさと村	97回	トウモロコシ・ジャガイモ収穫体験、農業イベント開催等
田奈恵みの里	106回	体験水田、農産加工教室、サツマイモ掘り等
新治恵みの里	120回	小麦収穫体験教室、ジャガイモ収穫体験、農産加工教室等
都岡地区恵みの里	77回	稲刈り・脱穀体験教室、トウモロコシ収穫体験等
柴シーサイド恵みの里	42回	ミカン狩り、ジャガイモ収穫体験、農業イベント開催等
合計	442回	



【写真】うどん作り教室
(田奈恵みの里の農産加工教室
/青葉区)



【写真】ジャガイモ収穫体験
(舞岡ふるさと村の収穫体験
/戸塚区)



【写真】冬野菜作り教室
(新治恵みの里の農業教室/緑区)

■ 農ある横浜・あぐりツアーを開催しました

市内の農畜産物の生産現場である農業専用地区や直売所の見学を行うことで、市内の農業を身近に感じるだけでなく、農業に対する理解も深めていただきました。

〈あぐりツアー開催実績〉

場所	時期	詳細
神奈川区	平成 26 年 8 月	農業専用地区の見学、浜なし・浜ぶどうの収穫体験
泉区	平成 26 年 9 月	直売所の見学とサツマイモ掘り
神奈川区、都筑区	平成 27 年 2 月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験
青葉区	平成 27 年 9 月	寺家ふるさと村の見学、浜なしの話・収穫体験
保土ケ谷区	平成 27 年 11 月	苺部大根の話と収穫体験、直売所見学
都筑区	平成 28 年 3 月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験
保土ケ谷区	平成 28 年 8 月	横浜の農業の話、環境活動支援センター見学、ナシ・ブドウの収穫体験
青葉区、緑区	平成 28 年 10 月	サツマイモ掘り、田奈恵みの里の話、四季菜館見学
保土ケ谷区	平成 28 年 11 月	西谷農業専用地区の見学、苺部大根の話と収穫体験、直売所見学
金沢区	平成 28 年 12 月	柴農業専用地区の見学、ミカン狩り、柴シーサイド直売所見学
旭区	平成 29 年 7 月	トマトの収穫体験、直売所見学、トウモロコシの収穫体験、生産緑地と農用地の見学
戸塚区	平成 29 年 10 月	舞岡ふるさと村の見学、直売所見学、サツマイモ掘り
保土ケ谷区	平成 29 年 11 月	西谷農業専用地区の見学、苺部大根の話と収穫体験、直売所見学
金沢区	平成 29 年 12 月	柴漁港の見学、地魚の昼食、柴農業専用地区の見学、ミカン狩り、柴シーサイド恵みの里直売所見学
神奈川区、戸塚区	平成 30 年 3 月	菅田羽沢農業専用地区の見学、イチゴの収穫体験、牧場見学、市内産イチゴと牛乳のジェラート美食
旭区	平成 30 年 7 月	トウモロコシの収穫体験、サボテン・多肉植物の栽培温室兼直売所見学、農産物直売所見学
神奈川区、保土ケ谷区、金沢区	平成 30 年 10 月	若手農業者団体とほ場見学、苺部大根の収穫体験、しいたけの収穫体験
戸塚区	平成 30 年 11 月	サトイモの収穫体験、畑見学、干し柿づくり講座、自家製野菜等を使用した昼食
金沢区	平成 30 年 11 月	柴漁港の見学、地魚の昼食、柴農業専用地区の見学、ミカン狩り、柴シーサイド恵みの里直売所見学
保土ケ谷区	平成 31 年 3 月	西谷ネギ及び苺部ネギの話、西谷農業専用地区の見学、イチゴの収穫体験

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



【写真】サボテン・多肉植物の栽培温室兼直売所見学（旭区）



【写真】舞岡ふるさと村について農家の案内と畑見学（戸塚区）



参加者の声

- ・新鮮な野菜を自分で収穫できて楽しかったです。
- ・横浜にこんなに自然豊かな農地があるのかと驚きました。
- ・地元の農産物を購入したいです。
- ・各農家さんの人柄の良さを感じ、豊富な種類の野菜に触れることができました。

■ 市民と農家の協働による「農のある地域づくり協定」を締結しました

農家と地域住民が協働で農的環境を維持・保全する活動に対して支援を行いました。

<5か年の新規協定一覧>

区・町名	支援内容
神奈川区三枚町	援農、農産加工活動ほか
戸塚区舞岡町	援農、地域交流活動ほか
保土ケ谷区上菅田町・ 緑区鴨居七丁目	援農、景観保全活動ほか
保土ケ谷区西谷町・旭区 川島町	援農、景観保全活動ほか



【写真】ブドウの栽培管理
 (保土ケ谷区西谷町)



活動に参加した
 住民の声

・植え付け準備から収穫まで一連の農作業を行うことで、農作業の楽しさや大変さを学ぶことができました。

■ 家族で学ぶ農体験講座を開催しました

小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験する連続講座を環境活動支援センター（保土ケ谷区）内の畑で開催しました。



参加者の声

- ・普段農業体験は全くできないので、家族で育てる喜び、収穫する喜び、食べる喜びを感じることができてよかったです。
- ・農業体験をとおして、それぞれの食物の特徴など、豆知識も教えていただき、子どもにとっていい経験になりました。



【写真】サツマイモの
 植え付け



【写真】ラッカセイの収穫

16 地産地消にふれる機会の拡大

- 地域でとれた農畜産物などを販売する直売所の整備等の支援を実施するとともに、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市の市民交流イベントの実施を支援します。
- 市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や、公共施設や農地の縁辺部等への植栽に活用します。
- 地産地消に関する情報誌・パンフレットの発行や、イベントの開催などによる情報発信・PRを実施します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		直売所等の支援	青空市の運営支援	緑化用植物の生産・配布	情報発信・PR活動
進捗状況	平成 26 年度実績	4 件	4 件	27,533 本	推進
	平成 27 年度実績	11 件	5 件	26,108 本	推進
	平成 28 年度実績	10 件	5 件	26,560 本	推進
	平成 29 年度実績	14 件	3 件	26,856 本	推進
	平成 30 年度実績	14 件	3 件	26,702 本	推進
	5か年累積 [a]	53 件	20 件	133,759 本	推進
5か年目標 [b]		52 件	25 件	125,000 本	推進

▼目標・計画値に対する進捗率

	直売所等の支援		青空市の運営支援		緑化用植物の生産・配布		情報発信・PR活動
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	102%	◎	80%	○	107%	◎	—

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	28 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	36 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	34 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算額	39 百万円	0 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	38 百万円	0 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	176 百万円	0 百万円
5 か年計画額 [d]		257 百万円	0 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	68%	△	—



5か年の評価・検証

- 泉区中田町の直売所に対する備品購入支援など、53 件の直売所や加工所の支援を行い、市民が身近な所で市内産農畜産物を購入できる場を増やしました。また、青空市でのイベントの支援により、農家との交流の機会を提供しました。
- 市民配布や公共緑化等を通じて、市内産植木や草花に親しめる機会を創出しました。
- 情報発信・PR活動については、生産者や事業者の取組やマルシェの情報などを記載した情報誌、エリア別の地産地消サポート店マップの発行に加え、新たに、インスタグラムを活用した「#（ハッシュタグ）横浜農場キャンペーン」を大学と連携して実施する等、広報に取り組みました。また、普段は“農”にふれる機会の少ない都心臨海部の皆様に対して、生産者や企業とも連携した多様なイベントを実施しました。
- 市民へのアンケートでも地産地消への関心は高いことから、引き続き、様々な主体と連携しながら地産地消にふれる機会を拡大する取組を実施する必要があります。

5か年の総合評価	B
----------	---

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



5か年の実績詳細

■ 直売所、加工所の備品購入の支援を行いました

直売所等を支援することによって、市民がより身近に市内産農畜産物を購入できる機会を提供することができました。また、青空市のイベント開催を支援し、市民が農家と交流できる機会を提供することができました。

直売所等の支援	
神奈川区	4件
保土ケ谷区	2件
旭区	5件
港北区	8件
緑区	6件
都筑区	1件
戸塚区	9件
栄区	3件
泉区	12件
瀬谷区	3件
合計	53件



【写真】備品購入を支援した直売所
(直売所での焼芋販売/泉区中田町)



【写真】運営を支援している青空市
(東戸塚市民朝市/戸塚区)

青空市の運営支援		
西区	5件	みなとみらい農家朝市(高島中央公園)
保土ケ谷区	3件	横浜中部地区市民朝市(保土ケ谷公園ミニ運動場)
緑区	7件	長津田駅前直売所(横浜農協長津田支店前) 北八朔日曜朝市直売会(北八朔上自治会館前広場)
戸塚区	5件	東戸塚市民朝市 (東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ東戸塚第1駐車場)
合計	20件	

■ 市内産の苗木・花苗をPRしました

市内産の苗木・花苗のイベントでの市民配布や公共緑化、区役所等での展示を通じて、市内産植木や草花に親しめる機会を創出するとともに、多様な横浜の農をPRしました。



【写真】イベントにおける苗木配布
(市民配布/瀬谷区)



【写真】花苗の配布・展示
(ワールドポーターズ/中区)

■ 情報発信・PR

市民が農を身近に感じるための取組として、5か年を通して「はまふっどナビ」等の情報誌を発行したほか、みなとみらい21地区でPRイベント「横浜食と農の祭典」を開催するとともに「横浜農業の彩典」に参加しました。

平成30年度は「食と農の祭典 2018@横浜農場」を開催しました。「横浜北仲マルシェ」と「運河パーク」の2つの会場で市内の生産者やはまふっどコンシェルジュ等による市内産農畜産物や加工品の販売とキッチンカーでの料理提供とワークショップ、農機具の展示など一体的に横浜の魅力ある農業と農畜産物を「横浜農場」としてPRしました。

情報誌・はまふっどナビ	
第33号	横浜の夏 とうもろこし特集
第34号	太陽の下でたっぷりの水と栄養を吸って育った里芋特集
第35号	横浜農場物語 横浜を彩る花特集
第36号	横浜農場発 横浜のたまご特集
第37号	とれたてホクホク新じゃが特集
第38号	黄金色に輝く田園風景 横浜の米特集
第39号	はまふっど鍋特集 (市内産の野菜を用いた鍋)
第40号	畑とつながる横浜生まれのいいもの特集
第41号	横浜野菜サラダ図鑑
第42号	地産地消マルシェ&イベント特集
第43号	丸ごとシャキッと! 横浜キャベツ特集
第44号	よこはま花特集
第45号	濱のハイカラ農業女子
第46号	直売・マルシェ・青空市 特集
第47号	ミライの横浜農場
第48号	横浜のナスが食べたい!!
第49号	横浜のFrench(フレンチ)
第50号	ヨコハマのお土産



はまふっどナビ



【写真】「食と農の祭典 2018@横浜農場」(北仲通北第二公園他/中区)



横浜食と農の祭典 2018
 @横浜農場の来場者の声

- ・横浜でこんなに多くの種類の野菜が作られていて驚きました。
- ・横浜農場のマークのデザインがいいと思います。

17 地産地消を広げる人材の育成

- 地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成するとともに、活動を支援します。
- 地産地消に関するフォーラムを、市民・企業等と連携して開催します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		はまふうどコンシェルジュの活動支援	フォーラムの開催
進捗状況	平成 26 年度実績	14 件	1 回
	平成 27 年度実績	22 件	1 回
	平成 28 年度実績	27 件	1 回
	平成 29 年度実績	23 件	1 回
	平成 30 年度実績	24 件	1 回
	5か年累積 [a]	110 件	5 回
5か年目標 [b]		100 件	5 回

▼目標・計画値に対する進捗率

		はまふうどコンシェルジュの活動支援	フォーラムの開催
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	110%	◎	100% ◎

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	2 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	3 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	3 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算額	2 百万円	0 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	3 百万円	0 百万円
	5か年累積見込額 [c]	12 百万円	0 百万円
5か年計画額 [d]		22 百万円	0 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	55%	△	—

5か年の評価・検証

- はまふうどコンシェルジュの育成は着実に進んでおり、市民向けのマルシェ、収穫体験等の活動が活発になっています。多様な市民ニーズに応えるため、引き続き、きめ細やかに育成・支援を進め、活躍の場を広げていくことが必要です。
- フォーラムについては、毎年テーマを変えながら開催することで、地産地消に関わる生産者、事業者、市民の皆様の情報交換や交流の機会が年々拡大しています。こうした取組を通じて「農のプラットフォーム」を更に充実させていくことが必要です。

5か年の総合評価	A
----------	---

5か年の実績詳細

■ はまふうどコンシェルジュの活動支援を行いました

地産地消を広げる人材として、はまふうどコンシェルジュを育成するとともに、コンシェルジュが開催するマルシェや市民向けバスツアーなどの活動への支援を行っています。

5か年で奨励事業 99 件・補助事業 11 件の計 110 件の活動支援を行いました。

はまふうどコンシェルジュの活動支援			
【奨励事業】 99 件		【補助事業】 11 件	
マルシェの開催	48 件	講演会の開催と印刷物の発行	1 件
農作業体験教室の開催（単日）	23 件	市民向けイベントの開催	10 件
農作業体験教室の開催（期間）	21 件		
市民向けバスツアーの開催	7 件		

はまふうどコンシェルジュ育成講座	
第1回	横浜の「農」と地産地消（市の農業の概要と地産地消の取組についての講義）
第2回	横浜の「農」を味わう（中央卸売市場の見学と横浜野菜を使った調理実習等）
第3回	横浜の「農」を体験する（生産者と一緒に収穫や直売の体験）
第4回	横浜の「農」を巡る（市内の生産現場を見学するバスツアー）
第5回	これからの地産地消（今後の活動などを考えるワークショップを実施）



【写真】 育成講座



【写真】 みかんの摘果



【写真】 バスツアー

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

「食と農のフォーラム」を実施しました

地産地消に取り組む市民・企業等の交流や情報交換等を行うフォーラムを、市民・企業と連携して開催しました。

年度	①開催日 ②開催場所 ③来場者数	内容
平成 26 年度	①平成 27 年 2 月 4 日 14 時～17 時 ②ヨコハマ創造都市センター ③約 150 人	●基調講演 「あなたが地域を輝かせる 10 のヒント」 ●トークセッション ●交流会
平成 27 年度	①平成 28 年 2 月 9 日 15 時～17 時 30 分 ②横浜開港記念会館 ③約 80 人	●事例紹介 ・都市型マルシェ”横浜北仲マルシェ”について ・新たな流通システム”SEND”の構築と展開について ・市と連携した農家と飲食店の交流について ●トークセッション ●交流会
平成 28 年度	①平成 29 年 2 月 14 日 13 時 30 分～16 時 30 分 ②横浜開港記念会館 ③約 30 人	●講義 「横浜の農業・野菜の魅力の伝え方」 ～「神奈川食べる通信」の制作を通じて～ ●グループワーク ●発表・意見交換会
平成 29 年度	①平成 30 年 3 月 20 日 11 時 00 分～15 時 00 分 ②YCC ヨコハマ創造都市センター ③約 50 人	●講義 ・地産地消の弁当（商品）開発の事例について 等 ●グループワーク ●発表
平成 30 年度	①平成 31 年 2 月 23 日 13 時 00 分～16 時 30 分 ②アートフォーラムあざみ野 ③約 50 人	●見本市・講義 ・地産地消ビジネス事業で開発された商品の展示 ・お取り寄せ商品から学ぶ「選ばれる」商品の魅せ方 ●グループワーク ●発表

【平成 30 年度フォーラムの様子】



【写真】見本市



【写真】グループワーク



【写真】発表



フォーラム参加者の声

- どのような発想や商品がでていのか、より多く理解する機会となりました。
- たくさんのアイデアが出て参考になりました。

18 市民や企業等との連携

- 地産地消を広げる「農と企業等との連携」のマッチングを行います。
- 市内の中小企業等を対象とした、地産地消に関するビジネスを創出するための支援を行います。
- 学校給食での市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携した小学生の料理コンクールやパンフレットの配布などを実施します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		企業等との連携	ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の利用促進
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	5 件	推進	推進
	平成 27 年度実績	8 件	5 件	推進
	平成 28 年度実績	12 件	5 件	推進
	平成 29 年度実績	12 件	5 件	推進
	平成 30 年度実績	14 件	5 件	推進
	5か年累積 [a]	51 件	20 件	推進
5か年目標 [b]		50 件	25 件	推進

▼目標・計画値に対する進捗率

		企業等との連携	ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の利用促進		
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		102%	◎	80%	○	—

※各事業の年度ごとの計画値

	企業等との連携	ビジネス創出支援
平成 26 年度	5 件	—
平成 27 年度	5 件	5 件
平成 28 年度	10 件	7 件
平成 29 年度	15 件	8 件
平成 30 年度	15 件	5 件

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	1 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	4 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	11 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算額	14 百万円	0 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	16 百万円	0 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	46 百万円	0 百万円
5 か年計画額 [d]		43 百万円	0 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		107%	◎
		—	—



5か年の評価・検証

- 企業との連携については市内産農畜産物を使用した商品開発が進み、「横浜農場」を冠した商品も新たに生まれるなど、着実に取組が進んでいます。
- 地産地消ビジネスの創出支援により、新規創業者による市内産農畜産物を使用した加工品（ドレッシング、ワインなど）が新たに生まれ、マルシェ等で販売されるなど、様々な取組が広がっています。
- 小学校給食での市内産農産物（ダイコン、キャベツなど）の一斉供給を行うとともに、小学生が市内産農産物を使用した学校給食のメニューを提案する「はま菜ちゃん料理コンクール」の取組でも年々参加者が増加（平成 30 年度：2,015 点）し、子どもたちに地産地消への関心が広がっています。

5か年の総合評価	B
----------	---

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



5か年の実績詳細

■ 企業等と連携しました

企業と連携し、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催等を行い、市内産農畜産物のPRを図りました。

平成 26 年度 連携実績 【連携件数：5 件】	
そごう等との連携によるマルシェの開催	4, 7, 11 月
ヤマザキ製パン(株)との連携による新商品の企画及びPR	10~12 月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11 月
東京ガス(株)との連携による「地産地消・食育」をテーマとした料理教室の開催	11 月 27 日
JR東日本との連携による横浜線沿線でのマルシェ開催等	通年

平成 27 年度 連携実績 【連携件数：8 件】	
東日本旅客鉄道(株) 横浜支社との連携による市内産トマトソースを使った新商品の企画・PR	6~8 月
(株)ミツハシとの連携による市内産米の販売	9 月
山崎製パン(株) 横浜第二工場との連携による横浜ビーフを使った新商品の企画・PR	9~10 月
(株)そごう・西武 そごう横浜店との連携による市内産リンゴを使った新商品の企画	9~10 月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11 月
(株)代官山ワークス等との連携による「横浜北仲マルシェ」への市内農家の参加	1~3 月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「横浜ストロベリーフェスティバル 2016」における市内産イチゴの販売	2 月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「鍋小屋 2016」における市内産春菊・シイタケの使用	2 月

平成 28 年度 連携実績 【連携件数：12 件】	
東日本旅客鉄道(株)横浜支社との連携による横浜線沿線でのマルシェの開催	4 月~
(株)ルミネ ルミネ横浜店との連携によるマルシェの開催	4 月~
バイクォーターにおけるイベントでの市内産農畜産物の販売	5 月
横浜農業協同組合との連携による横浜農場のPR	5 月
山崎製パン(株) 横浜第二工場との連携による市内産トマトを使用した新商品の企画・PR	7~8 月
(株)ルミネ ルミネ横浜店との連携によるイベント「FUN! NIPPON FESTIVAL」における、飲食店での横浜産野菜を使用した限定メニューの提供	8 月
カルビー(株)との連携による市内産農産物を使用した試食品の提供及び直売の実施	9 月
オーケー(株)との連携による店舗での市内産農産物の販売	9 月~
東京家政学院大学との連携による講義及び朝市へのアンケート調査の実施	10~11 月
市内レストラン・飲食店との連携による地産地消フェアの開催	11 月
MARK IS みなとみらい・横浜ワールドポーターズとの連携による花き展覧会のPR (花の展示)	11 月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「Yokohama Strawberry Festival 2017」での市内産イチゴの販売・PR	2 月

平成 29 年度 連携実績 【連携件数：12 件】	
JR東日本との連携によるマルシェ開催	4月～
(株)グリーンピースとの連携による市内産トマトが入ったギフトセットの開発・販売	6月～
東京大学での農業経営に関する研究調査の実施	7月～
横浜国立大学での横浜市の地産地消に関する経済循環の研究の実施	8月～
NPO 法人森ノオトと連携した地産地消を次世代に受け継ぐ体験講座の開催	8月～
(株)香炉庵との浜なしを使用した新商品の開発・販売	9月～
東京家政学院大学での講義及び朝市でのアンケート調査の実施	10月～
市内のレストラン・飲食店との連携による地産地消フェアの開催	11月
MARK ISみなとみらい・横浜ワールドポーターズとの連携による花き展覧会のPR	11～12月
JR 東日本と港北区役所との共催による小机駅イベントでの直売の実施	11月
(株)横浜赤レンガとの連携による「Yokohama Strawberry Festival 2018」における市内産イチゴの販売・PR	2月
JA 横浜・地産地消サポート店との連携による里山ガーデンフェスタでの横浜農場PRと市内産農産物等の販売	3月
平成 30 年度 連携実績 【連携件数：14 件】	
JR東日本との連携によるマルシェ開催	4月～
春の里山ガーデンフェスタでの JA 横浜による市内産農産物の販売	4月～
(株)香炉庵との浜ぶどうを使用した新商品の開発・販売	5月
横浜スタジアム内ラウンジ等での市内産野菜を使用したメニューの販売	7～8月
みらいマルシェ(株)との協力によるマルシェの開催	8月～
(株)よこはまグリーンピースとの協力による「横浜農場小松菜カレー」の開発・販売	9月
秋の里山ガーデンフェスタでの地産地消サポート店による飲食提供やJA 横浜による市内産農産物の販売	9月
東京ガスとの連携による「生産者と飲食店の交流会」開催	10月
東京家政学院大学での講義及び朝市でのアンケート調査の実施	10月、11月
市内のレストラン・飲食店との連携による地産地消フェアの開催	11月
フェリス女学院大学エコキャンパス研究会との協力による「#(ハッシュタグ) 横浜農場キャンペーン」の実施	11月
横浜ワールドポーターズとの連携による花き展覧会のPR	11～12月
(株)横浜赤レンガとの連携による「Yokohama Strawberry Festival 2019」における市内産イチゴの販売・PR	2月
NPO 法人森ノオトと連携した「横浜の地産地消と出会い 未来につなぐ文化祭」の開催	2月



①



②



③



④

【写真】

- ①よこはまグリーンピースによる「横浜農場小松菜カレー」 ②JR 東日本との連携による横浜駅マルシェ
 ③東京ガスとの連携による「生産者と飲食店の交流会」 ④フェリス女学院大学との連携

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 地産地消のビジネス創出を支援しました

ビジネスプラン策定を支援する育成講座を開催しました。また、平成 26～29 年度の育成講座を受講し、補助対象に選定された計 20 件の事業化を支援しました。

<平成 27 年度の支援対象事業>

事業名	事業者名	内容
地産地消の店 まごころふぁーむ	横山 宜美	こだわって栽培したトマト「サンロード」を使用したオリジナル商品の開発と販売
旅するコンフィチュールギフト商品開発	違 克美	市内産農産物等を使用したコンフィチュール（ジャム）のギフト商品開発
オフィスに届けるサラダランチ	有澤 厚子	市内産の野菜を使用したサラダランチを開発しオフィスにお届け
横浜青みかん商品化プロジェクト	奥井 奈都美	摘果された青みかんを使用したドレッシングの開発と販売
こどもやさい検定プロジェクト	和賀 康子	親子で実施できるやさい検定の企画と開発

<平成 28 年度の支援対象事業>

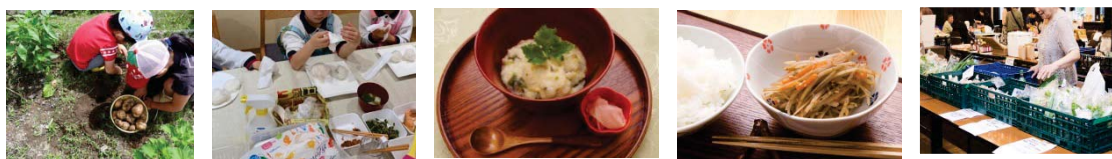
事業名	事業者名	内容
サッと炊けるフライパンごはん	東 みちよ	市内産の米を使用した、フライパンで調理できるごはんの開発と販売
腹ぺこキッズプロジェクト	大滝 千香子	市内産食材を使用したスポーツをする子ども向けの高栄養メニューの提案と市内産農畜産物を使用したふりかけの開発
生産物直売所を鶴見に作るプロジェクト	阪田 守昭	新規就農者への販路提供とともに、直売所の少ない鶴見区に新鮮野菜と農体験を提供する場づくり
地産地消・食育ワークショップ & ハンドブック	菅 千明	地産地消の食育ワークショップの企画・運営とそれに連動したハンドブックの制作・販売
横浜野菜たっぷりカレー	中尾 真紀子	市内産の野菜を使用したレトルトカレーの開発と販売

<平成 29 年度の支援対象事業>

事業名	事業者名	内容
ブルーベリーの葉を利用した商品の開発	金子 明美	日本初のブルーベリー葉茶作り教室の開催と葉茶関連商品の販売
農家の食卓プロジェクト	小間 一貴	横浜野菜の魅力を伝える、農家の手作り加工品の販売
横浜の農作物とナッツを使用した新たな観光土産の開発	坂本 奈緒子	ナッツと横浜産野菜・果物を使用した新たな横浜土産の開発・販売
生産者と消費者がつながる「まちなかワイナリー」を横浜につくる	町田 佳子	生産者と消費者をつなげる、横浜産の果物を使ったワインづくり
横浜野菜を使った野菜マフィンギフトの開発と販売	水島 綾子	通信販売による横浜野菜を使ったギフト商品の販売

<平成30年度の支援対象事業>

事業名	事業者名	内容
農体験に関する有料のインターネット掲示板の構築	堀尾 保	インターネット掲示板を活用した収穫体験や研修生の募集を検討している生産者の情報の広報の実施
親子☆横浜野菜キッチン	高崎順子	横浜の春夏秋冬の旬な野菜を収録したテキスト作成 テキストの一部を活用した親子食育ワークショップの実施
浜野菜のおしやでビジネスマンの健康を守る!	本橋 ゆり子	不規則な生活を送る方向けに、低カロリーで、横浜産の野菜たっぷりの間食・夜食用おしやの開発・販売
乾燥食材の製造及び販売	土井 和裕	鮮度保持を目的とした、横浜産の乾燥野菜の製造・販売
よこはま野菜(横浜農業)ブランド化プロジェクト	藤原 寿子 三浦 妙子	横浜野菜のブランド化を目的とした、横浜産の飲食物・PRグッズの開発・販売及びマルシェの開発



【写真】平成30年度の支援対象事業

■ 学校給食での市内産農産物の利用を促進しました

JA横浜及び市内の農家等と連携し、市内の小学校・特別支援学校に、給食で使用する農産物を届け、子ども達に提供しました。

また、市内の小学生を対象に、市内産農産物を使用した学校給食のメニューを募集する「はま菜ちゃん料理コンクール」を開催しました。

①市内の小学校・特別支援学校への一斉供給について

年度	供給品目	実施月	実施校数
平成26年度	キャベツ	11月	327校
平成27年度	キャベツ・ダイコン	11月	329校
平成28年度	米・ダイコン	7月・11月	332校・326校
平成29年度	キャベツ	11月	320校
平成30年度	ダイコン	11月	323校

②はま菜ちゃん料理コンクールについて

年度	テーマ食材	応募点数
平成26年度	キャベツ	1,362点
平成27年度	キャベツ・コマツナ	1,430点
平成28年度	ダイコン・コマツナ	1,595点
平成29年度	キャベツ	1,837点
平成30年度	じゃがいも・さつまいも	2,015点



【写真】はま菜ちゃん料理コンクール本選



コンクール参加者の声

- ・本番が一番上手にできたのでよかったです。
- ・みんなに美味しいと言われてうれしかったです。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる

ウ 市民が実感できる緑をつくる

19 民有地における緑化の助成

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、緑化費用の一部を助成します。(一般助成)
- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区における公開性や視認性のある緑化に対しては、上限額の引き上げや、維持管理費用の一部などにも助成します。(拡充助成)



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		緑化の助成
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	5 件
	平成 27 年度実績	5 件
	平成 28 年度実績	7 件
	平成 29 年度実績	3 件
	平成 30 年度実績	6 件
	5か年累積 [a]	26 件
5か年目標 [b]		65 件

▼目標・計画値に対する進捗率

		緑化の助成
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	40%	△

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	2 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	2 百万円	1 百万円
	平成 28 年度決算額	2 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算額	4 百万円	4 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	4 百万円	2 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	14 百万円	7 百万円
5 か年計画額 [d]		148 百万円	123 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		9%	△	6%	△



5か年の評価・検証

- 案内パンフレットの配布や、広報紙への掲載など制度の周知に努めましたが、助成件数は5か年目標の4割に留まりました。
- 緑化内容の実績として小規模な屋上緑化が多いこと、公開性や視認性のある緑化への助成が少なくなっていることから、緑が増えたという市民の実感につなげるという点では課題が残りました。
- 民有地における緑化を推進するため、助成制度の見直しを含め、多くの市民が訪れる公開性のある場所でまとまりのある緑化を実施していくことで、まちなかの緑を創出する取組のモデルとなるように努めることが必要です。

5か年の総合評価

C



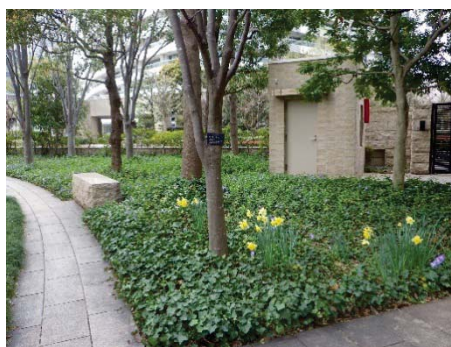
5か年の実績詳細

■ 屋上・地面緑化の費用の一部を助成しました

5か年で、個人宅のバルコニーや、集合住宅の屋上や壁面の緑化を、一般助成として 19 件、また拡充助成として公開性のある地面緑化 7 件、合計 26 件に対して助成を行いました。

<区別の実績>

区名	町名	件数
鶴見	北寺尾四丁目 駒岡四丁目 鶴見中央二丁目 東寺尾北台 鶴見中央四丁目 大黒町	6 (拡充3)
神奈川	神奈川二丁目 三ツ沢東町 大野町	3 (拡充1)
西	平沼一丁目 みなとみらい四丁目 (3件)	4 (拡充1)
中	山手町	1 (拡充1)
南	六ツ川二丁目	1 (拡充1)
港南	上永谷五丁目 港南六丁目	2
保土ヶ谷	帷子町	1
磯子	西町 杉田八丁目	2
緑	鴨居五丁目 長津田二丁目	2
青葉	新石川四丁目	1
都筑	早渕二丁目	1
戸塚	原宿一丁目	1
瀬谷	三ツ境	1



【写真】集合住宅周りの緑化助成事例
(西区みなとみらい四丁目)



制度利用者の声

・助成金を活用したことで、身近な緑を増やすことができました。

20 建築物緑化保全契約の締結

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い保全することに対し、建築物所有者等の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		建築物緑化保全契約
進捗状況	平成 26 年度実績	5 件 (約 2.4ha)
	平成 27 年度実績	7 件 (約 1.4ha)
	平成 28 年度実績	4 件 (約 5.9ha)
	平成 29 年度実績	0 件 (約 0ha)
	平成 30 年度実績	2 件 (約 0.07ha)
	5か年累積 [a]	18 件 (約 9.8ha)
5か年目標 [b]		制度運用

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	0 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	0 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	0 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算額	0 百万円	0 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	0 百万円	0 百万円
	5か年累積見込額 [c]	0 百万円	0 百万円
5か年計画額 [d]		0 百万円	0 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		—	—

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



5か年の評価・検証

- この制度の活用により、市民や企業が主体となった緑地保全が進み、地域の緑の保全につながっています。
- 制度を周知するため、区役所や財政局の協力を得ながら、固定資産税納税通知書発送時の案内チラシの同封や、「税の知識」等へ案内記事を掲載するなど積極的に取り組みました。
- 更なる制度活用の促進を図るため、開発関係の部署などとも連携し、積極的な広報を行い、緑地の保全と緑化の誘導に取り組みます。

5か年の総合評価	B
----------	---

**基準以上の緑化に対する
固定資産税・都市計画税の軽減措置のご案内**

横浜みどり税条例の施行（平成 21 年 4 月 1 日）に伴い、500㎡以上の建築物敷地で、一定基準以上の緑化を行い、その緑地を横浜市と 10 年間保全する契約を締結すると、建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税が軽減される制度です。
※横浜みどり税の延長に伴い、契約締結期間を平成 30 年 12 月 31 日まで延長します。

1 条件

- (1) 建築確認の敷地面積が 500㎡以上の建築物敷地であること（集合住宅や企業も対象となります）。
- (2) 敷地面積に占める緑化面積の部分が、基準となる緑化率（※1）に加え、さらに 5%以上緑化されている敷地であること。（※2）
- (3) 平成 30 年 12 月 31 日までの間に、緑化部分全体を 10 年間保全する契約を本市と締結すること。（※3）

※1 基準となる緑化率は、建築物の用途により異なります。なお、**個人宅・共同住宅の基準は 5～10%**です。

※2 緑化を証明する横浜市建築物緑化認定証を取得していただきます。

※3 契約できるのは、**建物の所有者又は管理者**です。

2 軽減内容

基準を超えて緑化している部分（上乗せ緑化部分）の税額の 4 分の 1 が軽減されます。

3 軽減期間

当該契約を締結した日の属する年の翌年の 1 月 1 日を賦課期日とする年度から 10 年度分（30 年中に契約いただいた場合、31 年度から税が軽減されます。契約締結は、30 年 12 月末で終了となります。）

4 参考

事例：敷地面積 500㎡／緑化基準 10%／実際の緑化面積 75㎡

<主な要件>

- ・基準緑化部分：50㎡（敷地の10%）
- ・上乗せ緑化部分：25㎡（5%以上に適合）
- ・緑化部分全体：10年間の保全契約締結

<軽減対象面積>

- ・25㎡（全体緑化75㎡－基準緑化50㎡）

<軽減額>

- ・25㎡に相当する税額の 4 分の 1 が軽減対象となります。

※ 対象となる緑化は**地上部のみ**で、屋上・壁面等は対象となりません。

【相談窓口・お問合せ先】

窓口での相談は、事前にご予約くださいますようお願いいたします。

横浜市 環境創造局 みどりアップ推進課 電話：045-671-3447
横浜市中区真砂町 2-2 2 階 関内中央ビル 6 階（JR・横浜市営地下鉄関内駅）

「税の知識（財政局発行）」の掲載記事



5か年の実績詳細

■ 保全契約を締結しました

5か年で、個人宅9件、企業1件、集合住宅8件について保全契約を締結し、約9.8haの緑地が10年間保全されることになりました。



【写真】保全契約の事例〔集合住宅〕（戸塚区）



【写真】保全契約の事例〔個人宅〕（中区）

<区別の実績>

区名	町名	件数
神奈川	鶴屋町	2
	白楽	
中	諏訪町	2
	本牧満坂	
南	中里三丁目	1
保土ヶ谷	川島町（2件）	2
旭	左近山（2件）	2
金沢	並木三丁目	1
緑	三保町	1
都筑	荏田南二丁目	1
戸塚	上倉田町	5
	品濃町（3件）	
	前田町	
瀬谷	相沢一丁目	1



制度利用者の声

- ・自宅の緑の保全に意欲的になりました。

21 名木古木の保存

- 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。
- 指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		名木古木の保存	
		新規指定	維持管理の助成
進捗状況	平成 26 年度実績	19 本	51 本
	平成 27 年度実績	17 本	47 本
	平成 28 年度実績	9 本	43 本
	平成 29 年度実績	33 本	62 本
	平成 30 年度実績	32 本	96 本
	5か年累積 [a]	110 本	299 本
5か年目標 [b]		推進	推進

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	19 百万円	16 百万円
	平成 27 年度決算額	14 百万円	11 百万円
	平成 28 年度決算額	11 百万円	9 百万円
	平成 29 年度決算額	14 百万円	11 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	17 百万円	14 百万円
	5か年累積見込額 [c]	76 百万円	61 百万円
5か年計画額 [d]		109 百万円	100 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		70%	○	61%	△



5か年の評価・検証

- 制度の周知が図られたことにより、5か年で新たに100本を超える名木古木を指定したほか、維持管理助成は、平成21年度から25年度までの横浜みどりアップ計画の5か年を上回る299本(97本の増)に対し助成を行うなど、高い実績となりました。
- これまで指定した樹木の定期調査では、樹木の専門家である樹木医が生育状況を確認するとともに、維持管理に対する適切な助言を行うなど、所有者に対する支援を充実させました。

5か年の総合評価

A



5か年の実績詳細

名木古木保存事業

樹齢が概ね100年を超える樹木や、故事、来歴等のある樹木を名木古木として指定・保存することで、都市の美観風致の維持に寄与しました。

また、名木古木に指定した樹木の診断、治療、せん定等の管理に助成金を交付し、樹木所有者の負担を軽減しました。

<区別の実績>

区名	新規指定	維持管理に対する助成
鶴見	4本	14本
神奈川	1本	13本
西	—	7本
中	19本	56本
南	3本	13本
港南	6本	16本
保土ヶ谷	6本	8本
旭	10本	39本
磯子	18本	18本
金沢	11本	20本
港北	23本	12本
緑	—	17本
青葉	—	16本
都筑	5本	11本
戸塚	1本	8本
栄	2本	4本
泉	—	16本
瀬谷	1本	11本
【計】	110本	299本

<維持管理の助成の内訳>

診断	治療	管理
27本	18本	254本

※名木古木の指定本数（平成31年3月末時点）
：1,019本



【写真】名木古木指定樹木の事例
(ヒノキ/磯子区)

22 人生記念樹の配布

- 人生の節目の記念に、希望した市民に対し苗木を無料配布します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		苗木の配布
進捗状況	平成 26 年度実績	7,752 本
	平成 27 年度実績	7,865 本
	平成 28 年度実績	7,476 本
	平成 29 年度実績	7,343 本
	平成 30 年度実績	6,529 本
	5か年累積 [a]	36,965 本
5か年目標 [b]		40,000 本

▼目標・計画値に対する進捗率

		苗木の配布	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	92%	○	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	11 百万円	3 百万円
	平成 27 年度決算額	12 百万円	4 百万円
	平成 28 年度決算額	12 百万円	4 百万円
	平成 29 年度決算額	9 百万円	4 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	8 百万円	4 百万円
	5か年累積見込額 [c]	52 百万円	18 百万円
5か年計画額 [d]		50 百万円	22 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	104%	◎		82%	○



5か年の評価・検証

- 小学校入学時に人生記念樹を申し込むことができるよう、市内の新一年生に申込みはがきを配布するなど、申し込み対象に合った広報を行い、目標本数に近い実績となりました。

5か年の総合評価

B



5か年の実績詳細

■ 人生の節目を記念して、苗木をプレゼントしました

民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目の記念に、市民が希望する樹種の苗木を無料で配布しました。

<申し込み対象となる記念>

出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人（20歳の誕生日）、就職、結婚、金婚（50年）、銀婚（25年）、賀寿（還暦や古希など7種類）、新市民（市外からの転入）、住宅の新築・購入、住宅の増改築

<配布実績>

区名	配布本数	区名	配布本数	区名	配布本数
鶴見	1,940本	保土ヶ谷	1,769本	青葉	5,043本
神奈川	1,590本	旭	2,855本	都筑	2,406本
西	891本	磯子	1,866本	戸塚	3,533本
中	854本	金沢	2,531本	栄	1,326本
南	940本	港北	2,567本	泉	1,524本
港南	1,873本	緑	2,091本	瀬谷	1,366本
【合計】 36,965本					



利用者の声

・こどもの小学校入学の記念に申し込みました。こどもと一緒に庭に植え、成長を見守りたいと思います。



【写真】苗木配布の様子（緑区役所）



【写真】苗木配布の様子（泉区役所）

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

- 各区の主要な公共施設について、緑を充実させる取組を推進します。
特に、視認性が高く多くの市民が実感できる緑の創出を重点的に実施します。
- 充実を図った公共施設の緑について、良好に維持管理します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		緑の創出	創出した緑の維持管理
進捗状況	平成 26 年度実績	16 か所	95 件
	平成 27 年度実績	22 か所	69 件
	平成 28 年度実績	18 か所	70 件
	平成 29 年度実績	19 か所	77 件
	平成 30 年度実績	25 か所	77 件
	5か年累積 [a]	100 か所	388 件
5か年目標 [b]		58 か所	推進

▼目標・計画値に対する進捗率

		緑の創出	創出した緑の維持管理
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		172%	◎

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	213 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	413 百万円	213 百万円
	平成 28 年度決算額	286 百万円	52 百万円
	平成 29 年度決算額	195 百万円	0 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	293 百万円	78 百万円
	5か年累積見込額 [c]	1,400 百万円	343 百万円
5か年計画額 [d]		1,370 百万円	150 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		102%	◎



5か年の評価・検証

- 多くの市民が訪れる区庁舎整備（南区庁舎、金沢区庁舎、港南区庁舎）に伴う緑化をはじめ、各区の地区センター、コミュニティハウス等の公共施設や公有地で緑化に取り組み、計画を上回る実績となりました。
- 各公共施設では、季節感を感じることのできる植栽、花を楽しめる植栽、屋上や壁面の緑化、生物多様性の向上につながる植栽など場に合わせた効果的な緑化を行うことで、市民が実感できる緑の創出が進みました。
- 引き続き、多くの市民が利用する公共施設への多様な緑化を進めるとともに、創出した緑を良好に維持管理していくことが必要です。

5か年の総合評価

A



5か年の実績詳細

■ 市が所管する公共施設・公有地を緑化しました

市庁舎（くすのき広場）や鶴見区、西区、保土ヶ谷区、南区、金沢区、港南区や栄区の各庁舎など、多くの市民が利用する施設等を新たに緑化しました。

また、「横浜みどりアップ計画」により創出した緑を良好に維持するため、各施設において適切な維持管理を行いました。

<区別実績（創出）>

区名	施設名	施設数
鶴見	鶴見区庁舎ほか 1 か所	2
神奈川	三ツ沢せせらぎ緑道ほか 3 か所	4
西	西区庁舎ほか 14 か所	15
中	市庁舎（くすのき広場）ほか 4 か所	5
南	南区庁舎ほか 4 か所	5
港南	港南区庁舎ほか 10 か所	11
保土ヶ谷	保土ヶ谷区庁舎ほか 7 か所	8
旭	旭区民文化センターほか 14 か所	15
磯子	市道新杉田 1 1 7 号線ほか 4 か所	5
金沢	金沢区庁舎ほか 2 か所	3
港北	港北スポーツセンターほか 6 か所	7
緑	森の台 1 号雨水調整池ほか 3 か所	4
青葉	青葉区庁舎ほか 5 か所	6
都筑	横浜国際プールほか 1 か所	2
戸塚	宇田川	1
栄	栄区庁舎	1
泉	泉土木事務所	1
瀬谷	相沢川水辺広場ほか 4 か所	5
合計		100



【写真】創出・事例
金沢公会堂（金沢区）



【写真】創出・事例
港北区庁舎（港北区）

24 公有地化によるシンボリックな緑の創出

- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区などを対象に、多くの市民の目に触れる場所で、緑豊かな公園を整備します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		シンボリックな緑の創出
進捗状況	平成 26 年度実績	1 か所
	平成 27 年度実績	1 か所 (事業推進 1 か所)
	平成 28 年度実績	4 か所 (事業推進 4 か所)
	平成 29 年度実績	5 か所 (緑の創出 1 か所、事業推進 4 か所)
	平成 30 年度実績	5 か所 (緑の創出 延べ 3 か所、事業推進 2 か所)
	5 か年累積 [a]	5 か所
5 か年目標 [b]		5 か所

▼目標・計画値に対する進捗率

シンボリックな緑の創出		
5 か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	100%	◎

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	301 百万円	21 百万円
	平成 27 年度決算額	1 百万円	1 百万円
	平成 28 年度決算額	445 百万円	38 百万円
	平成 29 年度決算額	432 百万円	70 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	531 百万円	196 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	1,710 百万円	326 百万円
5 か年計画額 [d]		1,650 百万円	324 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税		
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		104%	◎	101%	◎



5か年の評価・検証

- 鶴見区の下野谷町^{したのやちよう}三丁目公園に続いて、平成30年11月に西区の伊勢町もくせい公園、平成31年3月に南土木事務所跡地である港南区の^{さいど}最戸一丁目公園が開園し、緑の少ない区において5か年で3か所の緑豊かな公園を整備することができました。
- その他の予定地でも引き続き事業を進めていくことが必要です。

5か年の総合評価	B
----------	---



5か年の実績詳細

■ 伊勢町県職員宿舍跡地の一角に「伊勢町もくせい公園」が開園

平成30年11月30日、西区のほぼ中央に位置する伊勢町県職員住宅跡地の一角に「伊勢町もくせい公園」が開園しました。

園内には、広々とした草地広場や、園内を緩やかな勾配で散策できる園路を整備したほか、緑の少ない西区において、区の木であるモクセイ（キンモクセイ）をはじめ、サクラ（ジンダイアケボノ）、コブシ、サルスベリ、アジサイ、イロハモミジ等、四季を通じて花と緑を楽しむことができる樹木や草花を数多く植栽しました。



【写真】伊勢町もくせい公園（西区）

区	公園名称、事業予定地	面積	実績
鶴見区	下野谷町三丁目公園 (鶴見工業高校跡地)	2,828m ²	平成30年4月1日開園
神奈川区	六角橋四丁目 (国家公務員宿舍跡地)	約1,600m ²	用地取得、設計完了 (令和2年度以降完成予定)
西区	伊勢町もくせい公園(拡張) (県職員宿舍跡地)	4,024m ² ※拡張部の面積	平成30年11月30日開園
中区	山手町 (国家公務員宿舍跡地)	約2,600m ²	一部用地取得 (令和2年度以降完成予定)
港南区	最戸一丁目公園 (南土木事務所作業場跡地)	1,304m ²	平成31年3月16日開園

25 いきいきとした街路樹づくり

- 市民が目にする機会が多く、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成するため、せん定などの維持管理を通常の維持管理に上乘せして実施します。
- 都心臨海部の街路樹や区の代表的な街路樹については、低木の刈込や除草などの管理をより充実させます。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		街路樹の計画的なせん定
進捗状況	平成 26 年度実績	18 区で推進 (160 路線)
	平成 27 年度実績	18 区で推進 (206 路線)
	平成 28 年度実績	18 区で推進 (325 路線)
	平成 29 年度実績	18 区で推進 (559 路線)
	平成 30 年度実績	18 区で推進 (658 路線)
	5か年累積 [a]	18 区で推進
5か年目標 [b]		18 区で推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	262 百万円	262 百万円
	平成 27 年度決算額	277 百万円	277 百万円
	平成 28 年度決算額	277 百万円	277 百万円
	平成 29 年度決算額	272 百万円	272 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	285 百万円	285 百万円
	5か年累積見込額 [c]	1,373 百万円	1,373 百万円
5か年計画額 [d]		1,445 百万円	1,445 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		95%	○	95%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



5か年の評価・検証

- 市民の目にする機会が多い駅前広場や公共施設周辺、幹線道路などの街路樹のせん定を、目標とする樹形を目指し、切り方により配慮して行ったことで、緑陰の確保や街中の景観の向上につながっています。
- 26年度から、都心臨海部や区の代表的な街路樹については、せん定に加えて低木の刈込や草刈の頻度をあげた維持管理を実施しました。
- 老木化している街路樹や伐採された街路樹も見られ、長期的な街並みの美観向上に向けては、これまでの管理の取組に加え、街路樹の植え替えなども進めていく必要があります。

5か年の総合評価

B



5か年の実績詳細

■ せん定などの維持管理を実施しました。

街路樹を良好に育成するため、管理樹形図を作成し、樹種や路線の特性を考慮しながら、目標とする樹形とせん定方法をあらかじめ定め、計画的なせん定を実施しました。また、都心臨海部や各区の代表的な街路樹の植樹柵については、低木刈込、草刈や除草などの頻度をあげて行うことにより、より充実した管理を行いました。



本町通り イチョウ（中区）



新横浜中央通り
モミジバフウ（港北区）

26 地域緑のまちづくり

- 地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		地域緑化推進事業
進捗状況	平成 26 年度実績	22 地区 (うち新規: 6 地区)
	平成 27 年度実績	26 地区 (うち新規: 4 地区)
	平成 28 年度実績	29 地区 (うち新規: 9 地区)
	平成 29 年度実績	25 地区 (うち新規: 7 地区)
	平成 30 年度実績	23 地区 (うち新規: 5 地区)
	5か年累積 [a]	47 地区
5か年目標 [b]		46 地区

▼目標・計画値に対する進捗率

		地域緑化推進事業	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	102%	◎	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	196 百万円	196 百万円
	平成 27 年度決算額	151 百万円	151 百万円
	平成 28 年度決算額	165 百万円	165 百万円
	平成 29 年度決算額	180 百万円	180 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	172 百万円	172 百万円
	5か年累積見込額 [c]	864 百万円	864 百万円
5か年計画額 [d]		931 百万円	931 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	93%	○		93%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



5か年の評価・検証

- 応募者に対し、専門コーディネーターによる地域に合った計画づくり等の支援を、提案の募集期間から実施しました。その結果、目標を上回る地区と協定を締結することができました。
- 協定締結期間中の地区では、緑化計画書に基づき、その地域の特性に合わせた緑化が行われました。また、植栽後も植替え作業や講習会等、緑化に関する地域活動も積極的に実施され、地域内のコミュニケーションが増え、みどりを通じたまちづくりが進んでいます。
- 協定締結期間が終了する団体の活動報告会・交流会を開催することにより、団体同士の横のつながりの形成が進みました。
- 市の助成が終了した後も、地域で自立した緑化活動が継続できるように、協定期間中の団体と協定期間を終了した団体も含め、専門家による支援や団体同士の交流を今後も進めていく必要があります。

5か年の総合評価

A



5か年の実績詳細

■ 新たに31地区と協定を締結しました

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から、緑化計画の提案を公募し、緑化やまちづくりの専門家による提案計画づくりの支援を行い、5か年で31地区の団体と新たに協定を締結しました。

各地区では、緑化整備や緑の活動が行われ、地域の緑化推進に大きな成果を上げています。

<5か年の取組地区一覧>

<継続地区>

地区名	区名	協定締結年度
山手地区	中	H23
馬車道地区	中	H23
白根台第九地区	旭	H23
上白根国際地区	旭	H23
名瀬たかの台地区	戸塚	H23
上飯田地区	泉	H23
生麦・新子安地区	鶴見 神奈川	H24
みなとみらい21 中央地区	西	H24
錦が丘地区	港北	H24
末広地区	鶴見	H24
平楽地区	南	H24
みなとみらい21 新港地区	中	H25
牛久保西地区	都筑	H25
北寺尾地区	鶴見	H25
みなとみらい21 横浜駅東口・中央地区	西	H26
湘南桂台地区	栄	H26
合計		16地区

<新規地区>

地区名	区名	協定締結年度
洋光台一丁目地区	磯子	H26
六ツ川・永田地区	南	H26
柿の木台地区	青葉	H26
竹山三丁目地区	緑	H26
金沢文庫 すすらん通り地区	金沢	H26
中原三丁目地区	磯子	H26
東本郷地区	緑	H27
霧の里地区	緑	H27
初黄・日ノ出町地区	中	H27
上星川地区	保土ケ谷	H27
菅田地区	神奈川	H28
鴨居・白山一丁目地区	緑	H28
大倉山つつみ通り地区	港北	H28
関内地区	中	H28
東山田四丁目地区	都筑	H28
石川町地区	中	H28
三保町宮根地区	緑	H28
日本大通り地区	中	H28
江田駅周辺地区	青葉	H28
中之丸地区	港南	H29
日野団地地区	港南	H29
汐見台2丁目地区	磯子	H29
磯子・岡村地区	磯子	H29
前田町桜の丘地区	戸塚	H29
武蔵中山台地区	緑	H29
霧が丘六丁目地区	緑	H29
山下公園通り地区	中	H30
洋光台五街区周辺地区	磯子	H30
上菅田地区	保土ケ谷	H30
新横浜二丁目地区	港北	H30
大倉山地区	港北	H30
合計		31地区

＜平成 30 年度取組状況＞

各地区では、地域の緑化計画に基づく緑化が進み、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動が盛んになりました。

地域のメイン道路や隣接する準工業地域での緑化をテーマにした地区では、準工業地域にプランターを設置し、新たな景観を作り出し、周囲からは「準工業地域が明るくなり、地域との一体感がでてきた」との声が聞かれました。

また、地域緑のまちづくり推進団体の交流の場として、全地区の推進団体と地域緑のまちづくりに興味のある方を対象に、活動報告&交流会を実施しました。30年度の活動報告では、当該年度で協定期間が終了する3地区から取組を発表していただきました。



【写真】プランターでの緑化
(東山田四丁目地区/都筑区)



【写真】花植えイベントの様子
(洋光台五街区周辺地区/磯子区)



【写真】沿道での壁面緑化
(新横浜二丁目地区/港北区)



【写真】地区内公園の緑化
(湘南桂台地区/栄区)



【写真】植替え作業の様子
(磯子・岡村地区/磯子区)



【写真】活動報告&交流会の様子
(情報交換や地区同士の交流の場)



活動団体の声

- ・地域緑のまちづくりの活動で花や緑の手入れをしていると、声をかけられ励みになります。
- ・緑化することできれいになり、ごみを捨てられることが減りました。

■ 北寺尾地区で活動する『鶴見「みどりのルート1^{ワン}」をつくる会』が、第38回緑の都市賞内閣総理大臣賞を受賞しました。

◆会の概要

かつて里山であった場所が、国道1号の開通に伴い利便性が高く賑わいのある地域となった一方、緑が減少し、看板やごみが増え、防犯や景観上の問題が発生していました。そのことを課題に感じ、緑を回復させたいとの思いを持った地域住民が、緑を増やし、まちに繋がりのある温かい地域づくりを行うため、地域住民が中心になって沿道の店舗や学校等に呼びかけ設立されたのが『鶴見「みどりのルート1」をつくる会』です。

◆活動の特徴

本会の特徴は、沿道の緑化からまちづくりをするという目的を、地域住民だけでなく沿道の店舗や学校という異なる立場の個人や組織が共有し、連携して取り組んでいる点です。「地域緑のまちづくり事業」の助成金を活用して、約1kmの沿道にわたり統一感のある樹種の植栽や緑化を行っただけでなく、地域ぐるみで定期的に清掃活動や緑を楽しむイベントを開催するなど、緑でまちを繋ぐ取組を実施し成果を上げています。

本市からの助成は終了しましたが、会として引き続き緑化や維持管理活動を実施しており、地域住民と周辺企業、教育機関が繋がり、まちのコミュニケーションも活性化している市民活動のモデルケースとなる取組です。

※推進団体の活動内容については、横浜みどりアップ計画市民推進会議が発行する広報誌「みどりアップQ第10号（平成29年9月）」でも取り上げています。

◆活動場所

鶴見区の北寺尾交差点を中心とする国道1号の沿道約1km

◆緑化した沿道の様子



◆維持管理活動の様子



◆沿道店舗における緑化前後の様子



27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 子どもを育む空間である、保育園、幼稚園、小中学校において、多様な緑を創出します。
- 芝生等を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		緑の創出	芝生等の維持管理
進捗状況	平成 26 年度実績	50 か所	推進
	平成 27 年度実績	32 か所	推進
	平成 28 年度実績	36 か所	推進
	平成 29 年度実績	34 か所	推進
	平成 30 年度実績	37 か所	推進
	5か年累積 [a]	189 か所	推進
5か年目標 [b]		100 か所	推進

▼目標・計画値に対する進捗率

		緑の創出	芝生等の維持管理
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	189%	◎	—

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	70 百万円	10 百万円
	平成 27 年度決算額	64 百万円	9 百万円
	平成 28 年度決算額	57 百万円	11 百万円
	平成 29 年度決算額	60 百万円	4 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	55 百万円	3 百万円
	5か年累積見込額 [c]	307 百万円	37 百万円
5か年計画額 [d]		463 百万円	75 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]	66%	△	49% △



5か年の評価・検証

- 園庭や校庭の芝生化のみならず、ビオトープや樹木による緑化等に対しても支援するよう事業内容を拡充し、多様な緑を創出することができました。
- ビオトープの整備では、総合学習などの授業を活用し、子どもたちが生物多様性や地域の生き物について学びながらビオトープの整備に取り組むことができました。
- 創出した芝生やビオトープ、植栽などを常に良好な状態で維持管理していくことが課題です。管理者の過度な負担にならず良好な状態で維持していくために、管理者への技術支援を継続して実施していく必要があります。

5か年の総合評価

B



5か年の実績詳細

■ 緑の創出

校庭・園庭の芝生化に加え、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑が増えました。

区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園	区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園
鶴見	17か所	4か所	金沢	3か所	1か所
神奈川	15か所	3か所	港北	4か所	6か所
西	4か所	—	緑	4か所	3か所
中	7か所	3か所	青葉	13か所	3か所
南	17か所	1か所	都筑	9か所	3か所
港南	7か所	1か所	戸塚	8か所	3か所
保土ヶ谷	8か所	3か所	栄	13か所	1か所
旭	3か所	5か所	泉	6か所	—
磯子	6か所	1か所	瀬谷	4か所	—
			【計】	148か所	41か所

<実施内容ごとの内訳>

校庭・園庭芝生化	ビオトープ	樹木による植栽	花壇など
56か所	69か所	48か所	37か所

※複数の緑化を実施した施設があるので、か所数の合計は一致しません。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる

■ 芝生等の維持管理

みどりアップ計画に基づき緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部の支援と合わせて、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施しました。また、ピオトープの整備や維持管理について、専門家による訪問指導を実施しました。

- ・費用の一部を支援した箇所数：のべ 500 か所以上
- ・芝生の維持管理について 研修会：14 回 専門家による訪問指導：141 回
- ・ピオトープの専門家による訪問指導：68 回



【写真】〔整備〕 樹木による緑化
(西谷保育園/保土ケ谷区)



【写真】〔整備〕 園庭の芝生化
(パレット保育園・妙蓮寺/港北区)



【写真】〔管理〕 芝生維持管理
(東戸塚小学校/戸塚区)



【写真】〔整備〕 ピオトープ整備
(和泉小学校/泉区)



利用者の声

- ・子どもたちが芝生の園庭で遊ぶのを楽しみにしています。
- ・ピオトープを通じて、生き物や生態系について学ぶことができました。

28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり

- みなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした都心臨海部で、^{りよくか}緑花による魅力・賑わいづくりを進めます。
- いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街となるように、緑や花を良好に育てます。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		都心臨海部の緑花	緑花の維持管理
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	6 箇所	3 箇所
	平成 27 年度実績	4 箇所	4 箇所
	平成 28 年度実績	12 箇所	8 箇所
	平成 29 年度実績	1 箇所	13 箇所
	平成 30 年度実績	1 箇所	9 箇所
	5 か年累積 [a]	24 箇所	37 箇所
5 か年目標 [b]		推進	推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執 行 状 況	平成 26 年度決算額	173 百万円	146 百万円
	平成 27 年度決算額	519 百万円	143 百万円
	平成 28 年度決算額	513 百万円	483 百万円
	平成 29 年度決算額	279 百万円	251 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	294 百万円	265 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	1,777 百万円	1,288 百万円
5 か年計画額 [d]		1,620 百万円	1,470 百万円

▼計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		110%	◎	88%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



5か年の評価・検証

- 都心臨海部の都市公園や港湾緑地、街路樹などが緑と花のネットワークを形成したことにより街の回遊性がさらに高まりました。
- 山下公園や港の見える丘公園、新港中央広場などでは、バラ園や多様な花壇が全国都市緑化よこはまフェアや「ガーデンネックレス横浜 2018」の会場としても活用されたことで、市民ばかりでなく国内外からの観光客の目を楽しませました。
- 都心臨海部は、多くの市民や観光客が訪れる横浜の顔であり、引き続き質の高い維持管理を進めるとともに、緑や花によるエリア全体の回遊性の向上に努め、その魅力を広く国内外に発信することで、より多くの市民、観光客を呼び込むことが必要です。

5か年の総合評価

A



5か年の実績詳細

■ 都心臨海部で緑花による賑わいづくりと維持管理を進めました

5か年でみなとみらい21地区から山下地区を中心としたのべ24か所で、緑や花による整備を進めました。また、山下公園や港の見える丘公園などのべ37か所で、バラ園や花壇等の維持管理を進めました。

実施か所	区名	都心臨海部の緑花	緑花の維持管理
アメリカ山公園	中区	実施	—
山下公園	中区	実施	実施
港の見える丘公園	中区	実施	実施
横浜公園	中区	実施	実施
元町公園（西洋館含む）	中区	実施	実施
山手イタリア山庭園（西洋館含む）	中区	実施	実施
グランモール公園	西区	—	実施
日本大通り	中区	実施	実施
山下公園通り	中区	—	実施
桜木町駅前西口広場	中区	実施	—
東横線跡地（桜木町駅前） （桜木町駅前から紅葉坂までの高架部分）	中区	実施	—
新港中央広場	中区	実施	実施
象の鼻パーク	中区	実施	実施
赤レンガパーク	中区	実施	実施
カップヌードルミュージアムパーク	中区	実施	実施
自動車道	中区	実施	実施
日本丸メモリアルパーク	西区	実施	—



【写真】東横線跡地の緑花整備（中区）



【写真】グランモール公園の維持管理（西区）



【写真】新港中央広場の維持管理（中区）



【写真】港の見える丘公園の維持管理（中区）

エ 効果的な広報の展開

29 市民の理解を広げる広報の展開

- 市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）」を推進するため、様々な媒体を活用しながら、計画や取組実績の広報・PR を進めます。計画を所管する環境創造局と「横浜みどり税」を所管する財政局が連携し、財源（税）と用途（事業）の両面から市民に周知します。
- これまでに実施した広報手法について検証し、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を実施します。



5か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		計画の周知や実績報告
進 捗 状 況	平成 26 年度実績	推進
	平成 27 年度実績	推進
	平成 28 年度実績	推進
	平成 29 年度実績	推進
	平成 30 年度実績	推進
	5か年累積 [a]	推進
5か年目標 [b]		推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
執行状況	平成 26 年度決算額	16 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	17 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	16 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算額	15 百万円	0 百万円
	平成 30 年度決算見込額 ※平成 31 年 4 月 30 日時点の数値	14 百万円	0 百万円
	5 か年累積見込額 [c]	78 百万円	0 百万円
5 か年計画額 [d]		80 百万円	0 百万円

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [c/d×100]		98%	0
		○	—%
			—



5か年の評価・検証

- 広報よこはまへの記事掲載、実績概要リーフレットの自治会・町内会への回覧など、広報効果の高い取組を毎年度実施し、取組及び事業実績の周知を着実に進めました。
- 財政局及び各区役所と連携し、市連会・区連会での実績説明、区民まつりでのブース出展を行い、横浜みどり税及び横浜みどりアップ計画の周知を進めました。
- マスコットキャラクターをイベントで活用したほか、広報紙や交通広告でもキャラクターのイラストを生かした親しみやすいデザインによる広報を進めました。またプロモーションビデオ、アニメーションを制作し、視覚的に横浜の緑の魅力や横浜みどりアップ計画の取組を感じていただけるよう、映像を用いたPRを実施しました。
- 平成 26 年度から実施している調査では、計画を知っていると答えた割合は40%台で推移しています。計画を知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いています。今後も、引き続き効果の高い「広報よこはま等の広報紙」・「自治会・町内会の回覧」等での情報提供を行うとともに、事業実施場所での現地表示など各事業を進める中での広報も一層進めていく必要があります。

5か年の総合評価	B
----------	---



平成 30 年度の実績

■ イベントなどによる広報

<イベント出展による PR 活動>

出展した主なイベント

- ・ 里山ガーデンフェスタでの PR (平成 30 年 3 月 24 日から 5 月 6 日、
9 月 15 日～10 月 14 日)
- ・ よこはま花と緑の春フェア 2018 (平成 30 年 4 月 13 日～5 月 6 日)
- ・ 子どもアドベンチャー 2018 (平成 30 年 8 月 16 日～8 月 17 日)
- ・ 農と緑のふれあい祭り～楽しもう！横浜農場と狩場の秋～
(平成 30 年 11 月 3 日)
- ・ よこはま食と農の祭典 2018@横浜農場
(平成 30 年 11 月 17 日、18 日)
- ・ 金沢動物園春まつり (平成 31 年 3 月 17 日)

など



【写真】農と緑のふれあい祭り



<展示によるPR活動>

- ・市庁舎市民広間での展示



【写真】市民広間での展示

■ 区役所、他局と連携した横浜みどり税の広報

- ・市連会・区連会での実績説明（環境創造局、各区税務課）
- ・横浜みどり税PRチラシの配布（財政局税務課）
- ・個人市民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載（財政局税務課）
- ・法人市民税申告書送付時にチラシ同封（財政局税務課）
- ・各区区民祭りでのブース出展（各区税務課）
- ・固定資産税納税通知書発送用封筒への案内掲載（財政局税務課）

■ 各種媒体を活用した広報

<広報紙等への掲載>

- ・広報よこはま
 (市版特集ページ：9月号)
 (区版：戸塚区版特集ページ9月号、港北区版5月号、
 青葉区版5月号・9月号、栄区版6月号、西区版10月号、
 緑区版11月号、旭区版12月号、磯子区版3月号)
- ・季刊誌「みどり」(平成30年夏号、秋号)
- ・かんきょう横浜
 (平成30年7月号、9月号、平成31年3月号)
- ・よこはま農委だより(平成30年11月号)



【図】広報よこはま
 (戸塚区版：平成30年9月号)

<リーフレット・チラシ・報告書>

- ・平成29年度の実績概要リーフレットの自治会等での回覧
- ・平成29年度事業報告書

<メディアを活用した広報>

- ・横断幕の掲出
 動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等に掲出
- ・市営バス、公用車等へのPR用マグネットシートの貼付掲出(約4,000枚配布)
 (平成24年11月～)
- ・横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行(毎月1日に発行)



【図】平成29年度の実績概要
 リーフレット

- ・日産スタジアムでの広告設置
- ・ツイッターを活用した広報

<事業実施場所でのPR>

- ・事業実施場所での現地表示



【図】実施場所での現地表示
 (中区：馬車道地区)



【図】実施場所での現地表示
 (西区：伊勢町もくせい公園)

■ マスコットキャラクターを活用した広報

市民の皆様へ、より横浜みどりアップ計画に親しんでいただくため、平成27年度に作成したマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱー」について、各イベントで活用し、より幅広い層に横浜みどりアップ計画をPRしました。また、リーフレットやポスター等にキャラクターのイラストを使用し、より市民の目に留まる工夫をしました。



【写真】イベントでのPR



【写真】キャラクターを使用したエアポップ



【写真】日産スタジアムでの看板掲出

■ 映像を活用したPR

<プロモーションビデオの活用>

- ・プロモーションビデオの放映

視覚的に横浜みどりアップ計画をアピールするため、イベント等でプロモーションビデオを放映しました。

- ・CM用プロモーション動画の制作

15秒、30秒のCM用プロモーション動画を、区役所、デジタルサイネージや日産スタジアム等のビジョンで放映しました。

- ・QRコードを活用した取組

リーフレットや広報紙にQRコードを記載し、Youtubeでプロモーションビデオをご覧いただけるよう工夫しました。



【図】プロモーションビデオ

<ハンド・メイドアニメーション・グランプリを通じたPR>

- ・横浜賞の募集

若手アニメーション作家の育成・支援を目的としたショートアニメーションのコンテスト「ハンドメイド・アニメーション・グランプリ (HAG)」に横浜賞環境創造部門を設け、「横浜農場」をテーマに作品案を募集しました。

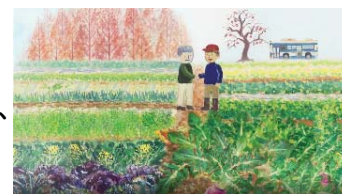
- ・アニメーションの活用

アニメーションは、首都圏26館のイオンシネマで放映された他、市内商業施設のデジタルサイネージも活用しました。

また、Youtubeでも公開しています。

- ・アニメーションデザインを用いた広報

アニメーションのデザインを活用し、PR用のクリアファイル、イベントのチラシを作成しました。複数の媒体でデザインを活用し、アニメーションとの相乗効果を意識したPRを実施しました。



【図】横浜農場のアニメーション

■ 『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』の実施

実施した広報手法の検証、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を毎年実施しています。

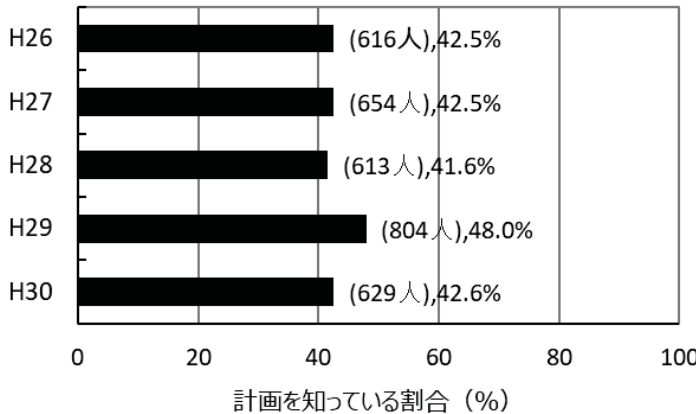
(1) 平成 30 年度の調査の概要

調査の対象：市民 5,000 人（住民基本台帳から無作為に抽出した満 20 歳以上の市民）
 実施期間：平成 30 年 11 月 1 日（木）から 11 月 22 日（木）まで
 回収数等：1,476 票（回収率 29.5%）
 調査方法：郵送配布、郵送回収

(2) 主な調査結果（平成 26～30 年度の 5 年間）

① 「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

計画を知っている割合は約 40%台で推移している。



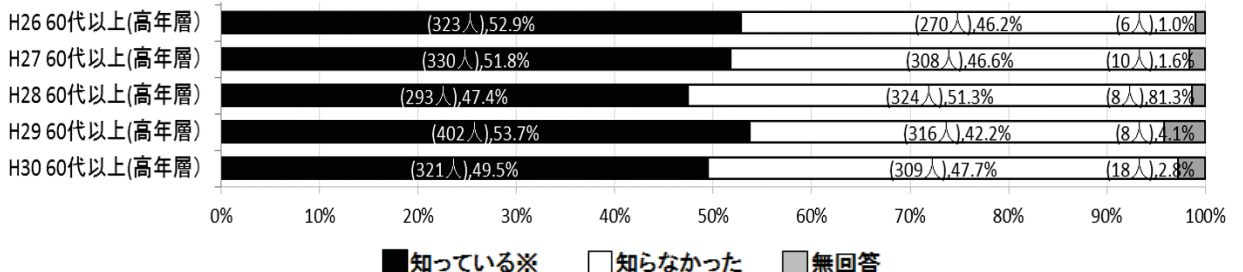
② 年代別の傾向

知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いている

<若年層>



<高年層>



※「知っている」は、「取組内容を知っている」、「あることを知っている」、「名称を見たことや聞いたことがある」の合計

※回収数：H26(n=1,449 人)、H27(n=1,541 人)、H28(n=1,474 人)、H29(n=1,675 人)、H30(n=1,476 人)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー エ 効果的な広報の展開

